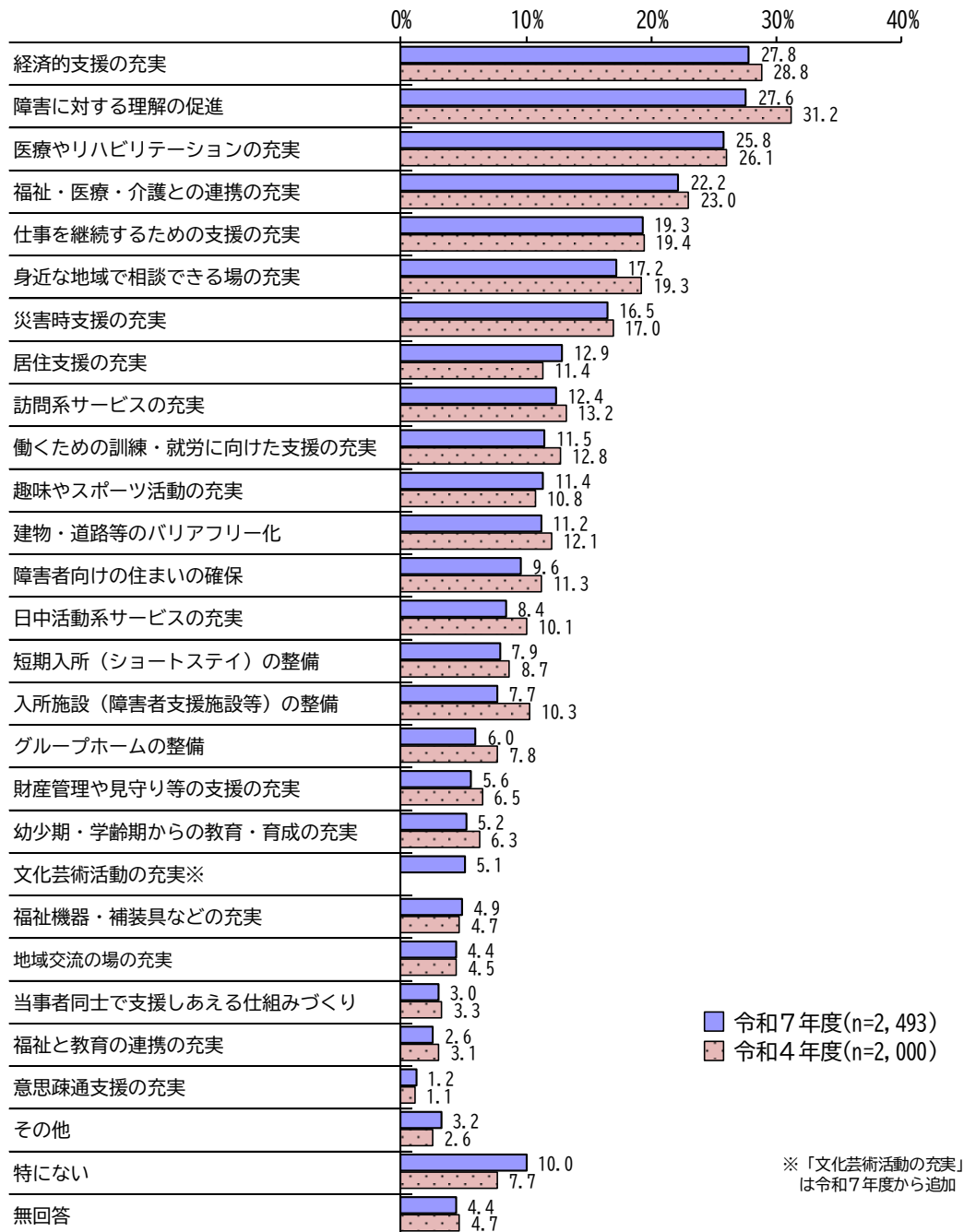


① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(5) 地域で安心して暮らすために必要な施策

問 22 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。
(〇は5つまで)



地域で安心して暮らすために必要な施策は、「経済的支援の充実」が27.8%、「障害に対する理解の促進」が27.6%、「医療やリハビリテーションの充実」が25.8%、「福祉・医療・介護との連携の充実」が22.2%と2割を超えて高くなっています。

令和4年度と比較すると、全体的な傾向にあまり大きな変化はありませんが、「障害に対する理解の促進」が3.6ポイント下がっており、全体的に微減している項目が多くなっています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】年代別

(単位:%)	n	障害に対する理解の促進	医療やリハビリテーションの充実	幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	働くための訓練・就労に向けた支援の充実	仕事を継続するための支援の充実	身近な地域で相談できる場の充実	訪問系サービスの充実
全体	2,493	27.6	25.8	5.2	11.5	19.3	17.2	12.4
年代別								
18歳以上40歳未満	538	37.0	16.5	10.0	22.5	41.1	18.0	6.3
40歳以上65歳未満	956	31.7	21.9	5.1	14.2	23.2	17.4	7.5
65歳以上75歳未満	336	22.3	33.3	2.1	5.1	7.1	15.8	13.1
75歳以上	633	16.6	36.2	2.7	1.1	1.7	17.1	25.1

(単位:%)	n	日中活動系サービスの充実	短期入所(ショートステイ)の整備	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームの整備	入所施設(障害者支援施設等)の整備	障害者向けの住まいの確保
全体	2,493	8.4	7.9	1.2	4.9	6.0	7.7	9.6
年代別								
18歳以上40歳未満	538	13.0	9.7	1.1	2.4	14.5	10.4	17.1
40歳以上65歳未満	956	8.4	2.5	0.8	3.6	4.1	4.9	10.4
65歳以上75歳未満	336	4.5	7.1	2.1	4.8	2.7	6.5	5.4
75歳以上	633	7.0	15.2	1.6	9.5	3.2	9.8	3.8

(単位:%)	n	居住支援の充実	建物・道路等のバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	文化芸術活動の充実	趣味やスポーツ活動の充実	財産管理や見守り等の支援の充実	経済的支援の充実
全体	2,493	12.9	11.2	3.0	5.1	11.4	5.6	27.8
年代別								
18歳以上40歳未満	538	13.0	4.6	4.3	5.4	14.1	8.9	35.9
40歳以上65歳未満	956	15.2	9.2	3.2	5.0	11.6	4.9	33.5
65歳以上75歳未満	336	13.4	18.2	2.4	6.8	12.8	6.3	24.7
75歳以上	633	9.0	16.0	1.9	4.1	8.4	2.7	14.1

(単位:%)	n	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	福祉・医療・介護との連携の充実	福祉と教育の連携の充実	その他	特になし	無回答
全体	2,493	16.5	4.4	22.2	2.6	3.2	10.0	4.4
年代別								
18歳以上40歳未満	538	15.2	4.5	14.7	5.0	3.9	6.9	1.5
40歳以上65歳未満	956	16.5	4.5	18.4	1.9	3.8	10.7	4.0
65歳以上75歳未満	336	17.9	6.3	28.0	1.8	1.2	11.0	4.5
75歳以上	633	16.9	3.5	30.6	1.7	3.0	11.5	7.1

年代別にみると、“18 歳以上～40 歳未満”では「仕事を継続するための支援の充実」が4割を超えて最も高くなっています。

“18 歳以上 40 歳未満”と“40 歳以上 65 歳未満”では「経済的支援の充実」が、“65 歳以上 75 歳未満”と“75 歳以上”では「医療やリハビリテーションの充実」が3割を超えて高くなっています。

“65 歳以上 75 歳未満”と“75 歳以上”では「福祉・医療・介護との連携の充実」も3割前後で高くなっています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	障害に対する理解の促進	医療やリハビリテーションの充実	幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	働くための訓練・就労に向けた支援の充実	仕事を継続するための支援の充実	身近な地域で相談できる場の充実	訪問系サービスの充実
全体	2,493	27.6	25.8	5.2	11.5	19.3	17.2	12.4
障害別								
肢体不自由	320	25.9	42.5	2.2	3.8	7.8	13.4	20.6
音声・言語・そしゃく機能障害	87	31.0	35.6	2.3	10.3	12.6	8.0	29.9
視覚障害	163	38.0	27.6	3.1	9.2	8.6	21.5	19.6
聴覚・平衡機能障害	153	32.7	28.8	3.3	7.2	11.1	18.3	12.4
内部障害	324	22.8	28.1	3.7	4.6	9.0	17.0	16.4
知的障害	256	32.4	9.8	5.9	10.5	24.6	18.4	11.3
発達障害	263	40.3	12.9	12.2	24.3	37.3	19.4	8.0
精神障害	626	39.3	15.8	6.7	23.8	31.5	22.2	8.6
高次脳機能障害	40	35.0	52.5	2.5	10.0	7.5	12.5	27.5
難病（特定疾病）	817	18.4	33.2	5.3	6.9	17.6	14.4	12.1
強度行動障害	658	35.1	19.8	6.5	18.1	27.5	17.5	13.1
その他	42	23.8	23.8	2.4	14.3	14.3	21.4	23.8

(単位:%)	n	日中活動系サービスの充実	短期入所（ショートステイ）の整備	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームの整備	入所施設（障害者支援施設等）の整備	障害者向けの住まいの確保
全体	2,493	8.4	7.9	1.2	4.9	6.0	7.7	9.6
障害別								
肢体不自由	320	8.8	15.3	0.6	10.9	5.3	10.0	11.6
音声・言語・そしゃく機能障害	87	16.1	23.0	5.7	14.9	5.7	14.9	12.6
視覚障害	163	8.0	8.0	1.2	14.1	3.7	6.7	14.1
聴覚・平衡機能障害	153	7.2	10.5	10.5	16.3	2.0	8.5	9.2
内部障害	324	5.6	6.8	0.0	7.7	2.2	5.9	6.5
知的障害	256	25.0	23.0	2.3	2.0	35.9	33.6	19.5
発達障害	263	12.5	10.3	1.9	1.5	13.3	11.0	15.6
精神障害	626	11.7	4.2	0.6	1.0	3.8	4.0	15.8
高次脳機能障害	40	15.0	12.5	2.5	12.5	2.5	10.0	10.0
難病（特定疾病）	817	4.0	6.4	0.1	4.2	2.2	5.5	4.0
強度行動障害	658	14.1	9.0	1.2	3.0	10.0	13.1	16.7
その他	42	14.3	11.9	4.8	2.4	4.8	11.9	9.5

(単位:%)	n	居住支援の充実	建物・道路等のバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	文化芸術活動の充実	趣味やスポーツ活動の充実	財産管理や見守り等の支援の充実	経済的支援の充実
全体	2,493	12.9	11.2	3.0	5.1	11.4	5.6	27.8
障害別								
肢体不自由	320	10.0	24.4	1.3	4.1	6.3	4.4	20.3
音声・言語・そしゃく機能障害	87	11.5	18.4	1.1	4.6	8.0	4.6	20.7
視覚障害	163	14.1	27.0	4.9	5.5	9.8	1.8	21.5
聴覚・平衡機能障害	153	9.8	12.4	2.6	2.0	7.2	5.2	14.4
内部障害	324	13.3	12.3	2.2	6.2	10.2	3.4	25.3
知的障害	256	14.8	3.5	1.2	4.7	16.4	14.1	17.6
発達障害	263	17.1	3.8	5.3	7.2	12.5	12.2	39.9
精神障害	626	18.1	3.5	4.5	5.9	12.1	7.7	43.5
高次脳機能障害	40	12.5	17.5	5.0	2.5	2.5	5.0	32.5
難病（特定疾病）	817	11.0	13.0	2.9	4.4	10.9	3.4	26.9
強度行動障害	658	17.9	6.4	4.3	5.5	11.6	8.7	37.8
その他	42	11.9	11.9	4.8	4.8	11.9	2.4	23.8

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

	n	災害時支援 の充実	地域交流の 場の充実	福祉・医療・ 介護との連 携の充実	福祉と教育 の連携の充 実	その他	特にな	無回答
(単位:%)								
全体	2,493	16.5	4.4	22.2	2.6	3.2	10.0	4.4
障害別								
肢体不自由	320	17.5	4.1	25.0	0.3	2.2	9.7	8.1
音声・言語・そしゃく機能障害	87	19.5	0.0	28.7	1.1	2.3	11.5	2.3
視覚障害	163	15.3	3.1	20.9	3.7	4.3	4.3	4.9
聴覚・平衡機能障害	153	24.8	3.9	31.4	2.6	3.3	8.5	4.6
内部障害	324	17.9	3.4	24.7	1.5	4.0	14.8	2.2
知的障害	256	14.5	3.9	20.7	2.0	2.3	5.5	3.5
発達障害	263	13.7	6.1	17.1	4.6	4.6	5.7	1.9
精神障害	626	15.3	5.9	16.3	3.0	3.8	6.5	1.8
高次脳機能障害	40	17.5	0.0	25.0	5.0	0.0	2.5	10.0
難病(特定疾病)	817	17.0	3.9	25.1	1.8	3.3	12.6	4.0
強度行動障害	658	16.3	5.0	22.6	3.6	5.6	4.6	2.3
その他	42	23.8	4.8	26.2	0.0	9.5	7.1	2.4

障害別にみると、“視覚障害”、“聴覚・平衡機能障害”、“発達障害”では「障害に対する理解の促進」が最も高くなっています。また、“難病(特定疾病)”を除くいずれの障害でも2割を超えており、特に“発達障害”では4割を超えています。

“知的障害”では、「グループホームの整備」が3割半ばを超えて最も高くなっています。

“精神障害”と“強度行動障害”では、「経済的支援の充実」が最も高く、特に“精神障害”では4割を超えて他の障害より高くなっています。

“その他”では「福祉・医療・介護との連携の充実」が最も高くなっています。

それ以外の障害ではいずれも「医療やリハビリテーションの充実」が最も高く、特に“高次脳機能障害”では5割、“肢体不自由”では4割を超えて、他の障害より高くなっています。

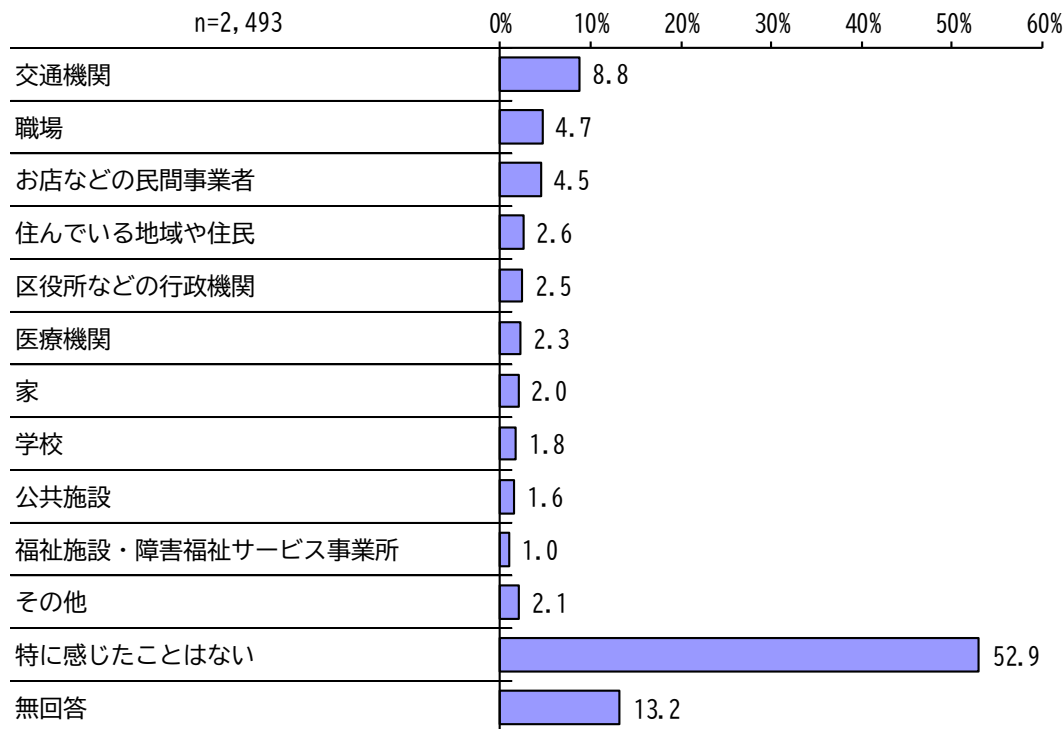
① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(5) 地域で差別を感じる場面

問 39 あなたが、地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面をお聞かせください。

(○はひとつ)



地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面は、「交通機関」が8.8%と最も高く、次いで「職場」が4.7%、「お店などの民間事業者」が4.5%と続いています。

一方、「特に感じたことはない」は52.9%と5割を超えています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	家	職場	福祉施設・ 障害福祉 サービス事 業所	お店など の民間事 業者	住んでいる 地域や住 民	公共施設	区役所な どの行政 機関
全体	2,493	2.0	4.7	1.0	4.5	2.6	1.6	2.5
肢体不自由	320	0.6	1.6	0.9	5.9	2.2	1.9	3.8
音声・言語・そしゃく機能障害	87	1.1	0.0	0.0	11.5	1.1	4.6	3.4
視覚障害	163	1.8	1.2	0.0	9.8	2.5	3.1	3.1
聴覚・平衡機能障害	153	1.3	2.0	0.7	10.5	4.6	0.7	3.9
内部障害	324	1.9	1.9	0.9	1.9	0.9	0.9	2.8
知的障害	256	1.2	2.7	2.0	6.3	3.9	4.3	1.6
発達障害	263	5.7	11.0	1.9	4.2	3.8	3.8	5.7
精神障害	626	4.5	10.2	2.1	3.4	4.5	1.6	4.0
高次脳機能障害	40	2.5	5.0	0.0	12.5	0.0	0.0	2.5
難病(特定疾病)	817	0.7	3.2	0.4	4.4	1.5	1.0	1.5
その他	42	4.8	7.1	4.8	2.4	4.8	0.0	4.8

(単位:%)	n	医療機関	交通機関	学校	その他	特に感じた ことはない	無回答
全体	2,493	2.3	8.8	1.8	2.1	52.9	13.2
肢体不自由	320	1.3	11.9	1.6	1.6	51.6	15.3
音声・言語・そしゃく機能障害	87	5.7	8.0	1.1	3.4	51.7	8.0
視覚障害	163	3.1	11.0	1.8	1.8	50.3	10.4
聴覚・平衡機能障害	153	0.0	7.8	1.3	1.3	51.0	15.0
内部障害	324	1.9	8.3	1.2	2.5	63.9	11.1
知的障害	256	3.9	7.0	5.1	2.3	46.1	13.7
発達障害	263	2.7	8.0	5.3	1.9	34.2	11.8
精神障害	626	4.2	8.5	1.4	3.8	40.7	11.2
高次脳機能障害	40	2.5	12.5	0.0	5.0	42.5	15.0
難病(特定疾病)	817	0.7	10.5	2.0	1.2	58.9	14.1
その他	42	4.8	7.1	0.0	4.8	45.2	9.5

障害別にみると、“発達障害”、“精神障害”、“その他”では「職場」が、“音声・言語・そしゃく機能障害”、“聴覚・平衡機能障害”、“高次脳機能障害”では「お店などの民間事業者」が最も高くなっています。

それ以外の障害ではいずれも「交通機関」が最も高くなっています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(6) 地域に求める合理的配慮

問40 あなたが、これまでに文京区内で感じた差別や合理的配慮の不提供についての内容及び、求める対応をお聞かせください。(自由記入)

地域に求める合理的配慮についての意見は364件ありました。「障害理解・思いやり・偏見の排除」についての意見が19.5%と最も多く、次いで「交通事情・バリアフリー」が15.1%、「行政・各種手続き」が13.7%と続いています。

主な意見は以下の通りです。

単位 (%)														
	総数	障害理解 ・思いやり・偏見の排除	交通事情 ・バリアフリー	行政・各種手続き	情報周知 ・啓発	雇用 ・就労	経済事情・経済的支援	医療機関 ・薬局	福祉サービス	学校・教育	休憩 ・トイレ	アクセシビリティ・テクノロジーの活用	将来の生活	その他
合理的配慮	364	19.5	15.1	13.7	9.1	5.5	4.4	4.4	3.3	3.0	1.9	1.6	1.6	16.8

◆主な意見（内容は要約・省略しています）

1. 障害理解・思いやり・偏見の排除（71件）

- ・以前、勤務していた職場で、聴覚障害を理解してもらえなかった。外見では、障害があるのがわからないので、聴こえないので、出来ない事を伝えても、理解されず、無視やハラスメントを受け、つらい思いをし、退職した事がある。
- ・見かけだけでは障害があると判断しにくいので、誤解を生じやすい。
- ・筆談対応を求めると嫌そうな顔をされる。障害に関心な人が多い。大人は聞こえないことを伝えても、冷たい対応を取られることが多い。子どもは身ぶり、手ぶりで色々と助けてくれることも多い。

2. 交通事情・バリアフリー（55件）

- ・対応を進めて下さっているとは感じているものの、文京区内は坂や小道が多く、また電車ホームや駅も古いため、移動が困難そうな人を見ることが多い。
- ・ビルに入っているような飲食店等でのバリアフリー化が不十分だと感じる。これから新しくビルを建てる時はバリアフリー経路の確保を推進するようにしてほしい

3. 行政・各種手続き（50件）

- ・区の窓口の対応不十分。身障度合により、窓口の外でも対応すべき！！（歩行困難者）、役所内書類は各所に行くのが困難です。
- ・手の障害で手帳が1級ですが、障害にかかわる申請や手続きをする際に、何枚もの書類に筆記が必要な場面が多くて辛いことがあります。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

4. 情報周知・啓発（33件）

- ・差別や、配慮の不提供が生じた際、調停できる機関や、救済に動くことのできる組織などが存在しない。当事者間の利害関係にとらわれず、間に入ることのできる仕組み作りが必要と思う。
- ・おそらく病気による言語障害に対して、話が通じず蔑ろにされているのを数度見かけたことがある。障害者は何が出来ないか、どうすれば意思疎通が出来るかを健常者にわかるよう必要な時には提示し、健常者はそれを元に対応できるようにしたい。

5. 雇用・就労（20件）

- ・就労をめざしているので、情報や相談などを強化していただけると、自信にもつながります。また当事者と向きあいながら接していただけると助かります。
- ・文京区では嫌な思いをしたことがありませんが、職場で初めて精神障害を開示した時に、上司の偏見から差別的扱いを受け、結局退職に至ったため、今後も開示しない意向。

6. 経済事情・経済的支援（16件）

- ・賃貸物件への家賃補助が欲しい（就業困難になり、給料減の為、文京区内への居住年数を加味して欲しい。今さら他へ引越しコミュニケーションを作る、通院を考えるのは難しい）
- ・片耳難聴の場合に補聴器調達の補助が得られないこと。

7. 医療機関・薬局（16件）

- ・補聴器をしている事で、あるクリニックで、筆談を突然されて、今までした事がなかったので、読むだけで、返事に困りました。正面を向いて、ゆっくり話してくだされば理解できるのでとても困りました。
- ・薬局でお薬手帳を見せると、薬の名前や病状について大きな声で話されてしまい、困惑することがある。配慮してほしいと思う。

8. 福祉サービス（12件）

- ・ケースワーカーの人はよく相談にのってくれる。
- ・文京区内の施設に入所出来ない。

9. 学校・教育（11件）

- ・近くに小学校があるが、“特別支援クラス”があるわけではなく、校内、授業で障害児を目にする事もほばない。小さい時から、社会には色々な人がいて、あたりまえを知るにも、教育の場も一緒に学べる場であって欲しい。
- ・小学生の頃、通常学級に通っていましたが、度々保護者が校長に呼び出され、支援級への転校を勧められました。

① 在宅の方向け調査結果

10. 休憩・トイレ（7件）

- ・ 障害者用のトイレの充実についてお願いがあります。公共施設で障害者用のトイレはありますが、右マヒ、左マヒ両方で使えるトイレを両方備えているところが少ないです。充実させてほしいです。
- ・ 歩道にもっとたくさんベンチを設置して下さる様願います。

11. アクセシビリティ・テクノロジーの活用（6件）

- ・ 物品の購入支払い時において、機械での対応が多いため、不都合のことが多い。
- ・ ルビ付きとルビ無しが選べると有難いです。ルビ付きの書類などが見えにくく読みにくく視覚的負荷を強く感じます。

12. 将来の生活（6件）

- ・ 文京区内のグループホームに入居させたいが、障害年金だけの収入では入居（生活）することが難しい。親亡き後を考えると、この先不安でしかない。
- ・ 母が万が一の後、どのように住宅や生活等していけば良いか不安である。

13. その他（61件）

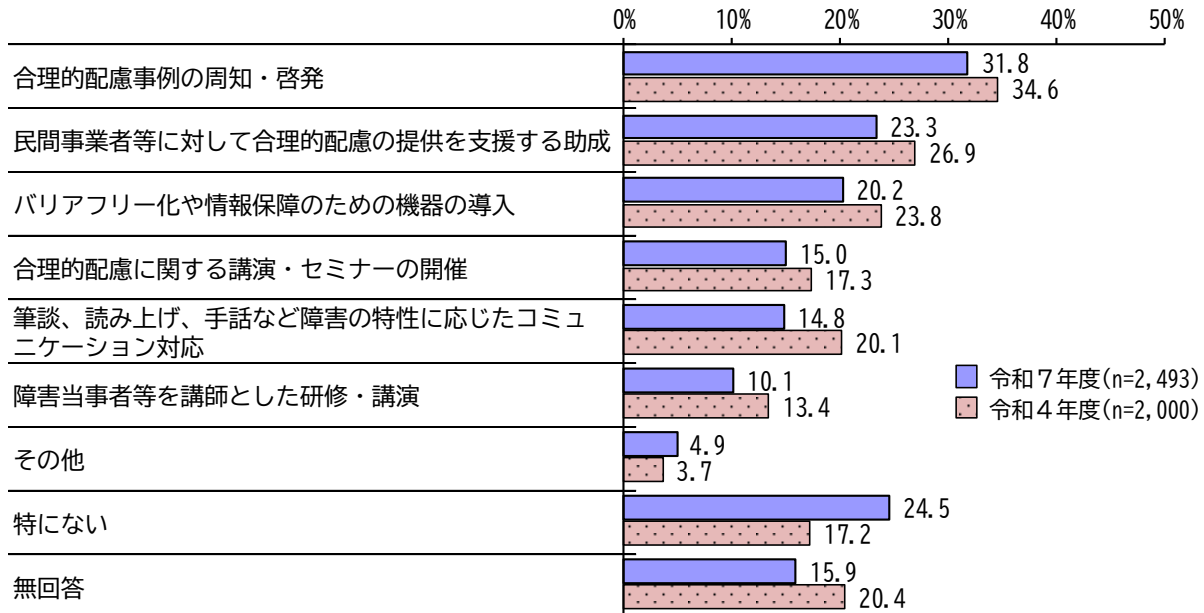
- ・ 差別や配慮の不提供、受けたことはない（自分の障害を相手に話すことにより協力得られるから外出先で不自由なことはない）。
- ・ 公共施設での扱いに関して、いまだに障害者と難病で扱いが違う事があった。やっぱり障害認定の方が配慮されて、難病患者とは扱いが異なると感じる事は多い

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(7) 合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 41 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことはなんだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



合理的配慮を進めていくために必要なことは、「合理的配慮事例の周知・啓発」が 31.8%と3割を超えて最も高く、次いで「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が 23.3%、「バリアフリー化や情報保障のための機器の導入」が 20.2%と続いています。

一方、「特にない」は 24.5%となっています。

令和4年度と比較すると、合理的配慮を進めていくために必要なことはいずれも減少しており、特に「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応」が 5.3 ポイント下がっています。反対に「特にない」は 7.3 ポイント上がっています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	合理的配慮に関する講演・セミナーの開催	合理的配慮事例の周知・啓発	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応	バリアフリー化や情報保障のための機器の導入	障害当事者等を講師とした研修・講演
全体	2,493	15.0	31.8	14.8	20.2	10.1
障害別						
肢体不自由	320	11.3	22.5	12.8	28.1	8.8
音声・言語・そしゃく機能障害	87	19.5	34.5	28.7	25.3	10.3
視覚障害	163	20.9	34.4	28.8	31.9	17.2
聴覚・平衡機能障害	153	13.7	31.4	27.5	22.9	10.5
内部障害	324	9.6	31.2	12.0	24.4	6.2
知的障害	256	17.2	37.1	16.8	10.5	11.3
発達障害	263	25.5	51.3	21.3	14.8	22.4
精神障害	626	20.4	34.0	13.6	14.1	13.6
高次脳機能障害	40	22.5	37.5	15.0	35.0	12.5
難病(特定疾病)	817	12.0	33.0	13.2	24.6	6.7
その他	42	19.0	21.4	14.3	23.8	9.5

(単位:%)	n	民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成	その他	特にない	無回答
全体	2,493	23.3	4.9	24.5	15.9
障害別					
肢体不自由	320	19.7	5.0	24.1	21.6
音声・言語・そしゃく機能障害	87	24.1	4.6	24.1	13.8
視覚障害	163	28.2	3.7	18.4	16.6
聴覚・平衡機能障害	153	14.4	3.3	22.2	23.5
内部障害	324	22.8	3.7	29.6	12.7
知的障害	256	24.2	4.3	25.8	14.5
発達障害	263	36.1	7.6	13.7	10.6
精神障害	626	25.4	8.3	25.2	12.5
高次脳機能障害	40	25.0	7.5	17.5	17.5
難病(特定疾病)	817	24.5	3.9	22.9	15.2
その他	42	28.6	16.7	23.8	9.5

障害別にみると、“肢体不自由”では「バリアフリー化や情報保障のための機器の導入」が、“その他”では「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が最も高く、それ以外の障害では「合理的配慮事例の周知・啓発」が3割を超えて最も高くなっています。

また、“視覚障害”と“高次脳機能障害”では「バリアフリー化や情報保障のための機器の導入」が、“発達障害”では「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が3割を超えており、他の障害より高くなっています。

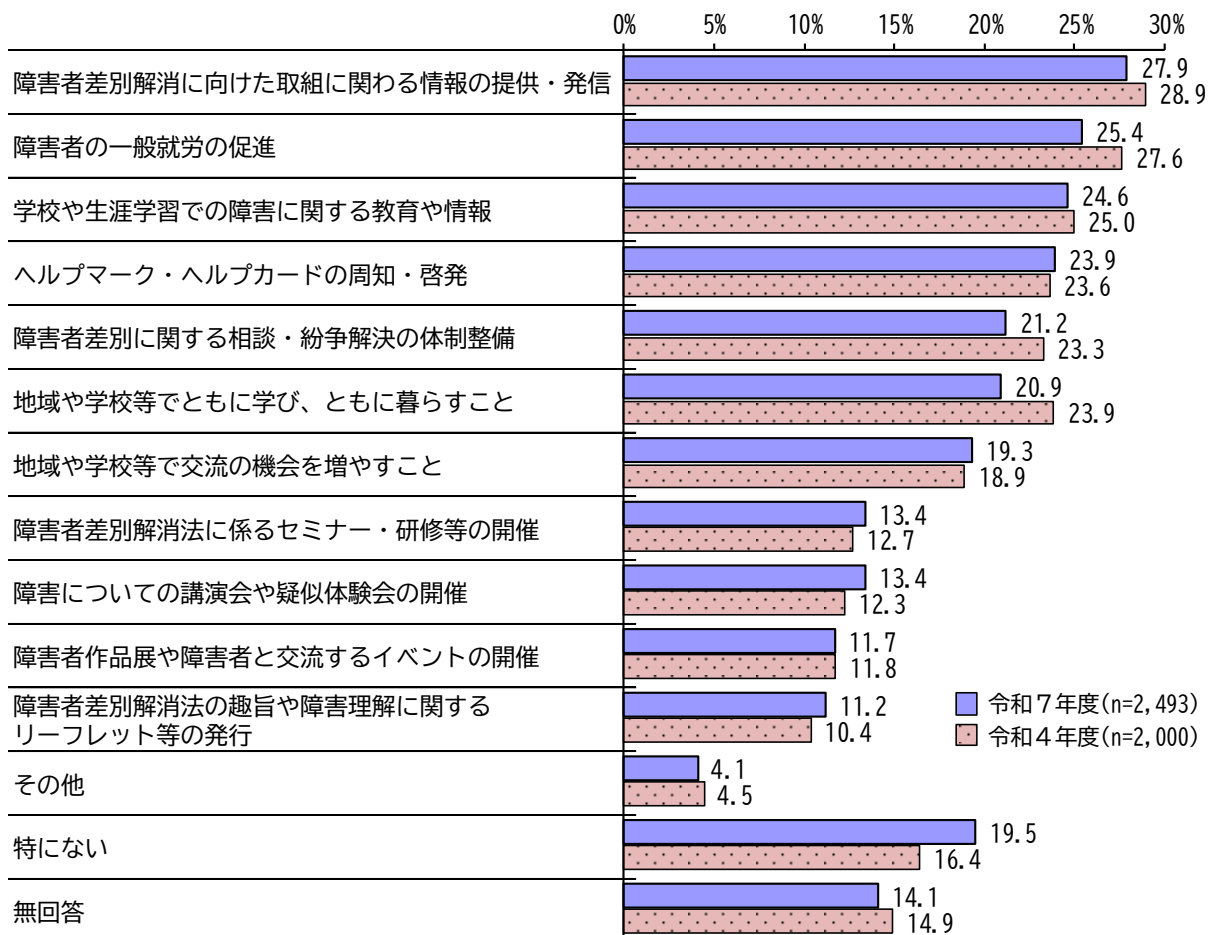
① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(8) 差別解消を進めていくために必要なこと

問 42 障害者の差別解消を進めていくために必要なことはなんだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



障害者の差別解消を進めていくために必要なことは、「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が27.9%と最も高く、次いで「障害者の一般就労の促進」が25.4%、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が24.6%と続いています。

一方、「特にない」は19.5%と2割近くを占めています。

令和4年度と比較すると、項目ごとに増減はありますが、全体的な傾向については、あまり大きな変化はなく、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が3.0ポイント下がっており、「特にない」が3.1ポイント上がっています。

① 在宅の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	障害者差別解消法に係るセミナー・研修等の開催	障害者差別解消法の趣旨や障害理解に関するリーフレット等の発行	障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催	地域や学校等で交流の機会を増やすこと	地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
全体	2,493	21.2	27.9	13.4	11.2	11.7	19.3	20.9
障害別								
肢体不自由	320	18.1	22.5	9.7	9.7	11.3	15.9	15.3
音声・言語・そしゃく機能障害	87	20.7	28.7	12.6	14.9	14.9	16.1	20.7
視覚障害	163	22.1	30.7	17.8	13.5	12.9	18.4	20.9
聴覚・平衡機能障害	153	19.6	32.0	12.4	15.0	13.1	16.3	17.0
内部障害	324	20.4	28.4	10.8	11.1	8.3	16.7	17.9
知的障害	256	20.3	30.5	16.4	12.1	22.3	31.6	32.8
発達障害	263	39.5	42.6	24.0	17.5	19.0	25.1	29.7
精神障害	626	27.5	31.8	18.2	12.5	12.8	15.0	20.3
高次脳機能障害	40	25.0	27.5	17.5	12.5	15.0	25.0	22.5
難病（特定疾病）	817	17.5	24.4	10.2	9.1	7.7	22.2	22.9
その他	42	33.3	31.0	14.3	9.5	21.4	16.7	14.3

(単位:%)	n	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	障害についての講演会や疑似体験会の開催	障害者の一般就労の促進	ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発	その他	特にない	無回答
全体	2,493	24.6	13.4	25.4	23.9	4.1	19.5	14.1
障害別								
肢体不自由	320	20.0	11.6	19.4	25.6	5.3	21.3	21.9
音声・言語・そしゃく機能障害	87	33.3	18.4	26.4	25.3	6.9	18.4	14.9
視覚障害	163	28.8	17.8	23.9	28.2	3.7	21.5	13.5
聴覚・平衡機能障害	153	20.9	18.3	22.2	22.2	4.6	22.9	19.6
内部障害	324	21.6	9.6	18.5	27.8	4.9	24.1	11.7
知的障害	256	30.5	16.4	29.3	19.9	2.0	17.6	11.7
発達障害	263	31.6	21.7	44.5	25.1	7.2	10.6	8.7
精神障害	626	25.6	16.0	32.9	22.5	6.5	17.7	10.5
高次脳機能障害	40	35.0	15.0	35.0	27.5	2.5	10.0	15.0
難病（特定疾病）	817	25.2	9.9	21.4	24.7	3.3	18.5	13.7
その他	42	23.8	19.0	23.8	40.5	9.5	21.4	9.5

障害別にみると、いずれの障害でも「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」と「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が2割を超えて高く、特に“発達障害”では「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が4割を超えています。

“知的障害”と“発達障害”では、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が3割前後で高くなっています。

“発達障害”では、「障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備」が4割近くで、他の障害より高くなっています。

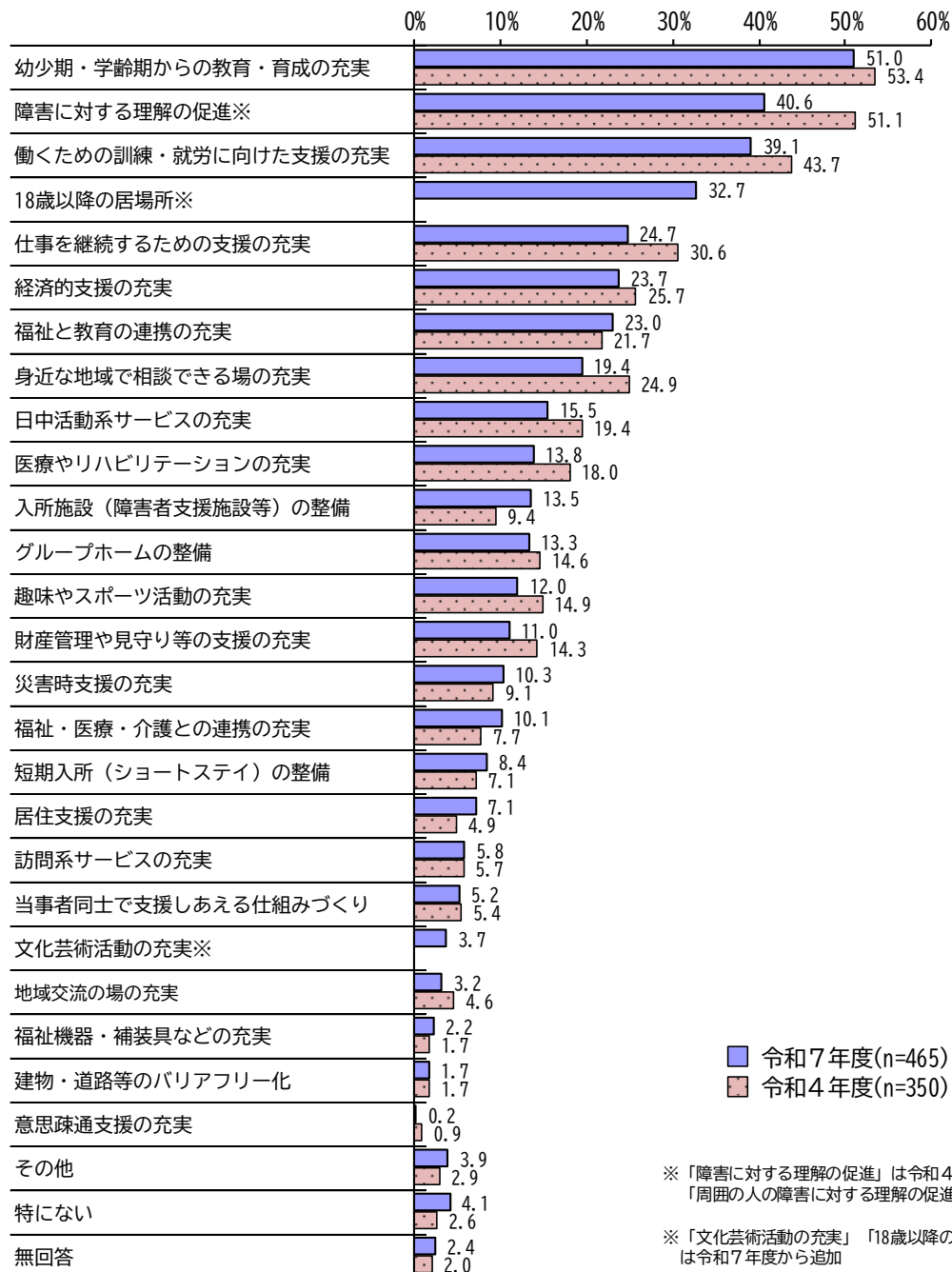
“発達障害”、“精神障害”、“高次脳機能障害”では、「障害者の一般就労の促進」が3割を超えて高く、特に“発達障害”では4割を超えて他の障害より高くなっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(4) 地域で安心して暮らすために必要な施策

問 21 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。
(〇は5つまで)



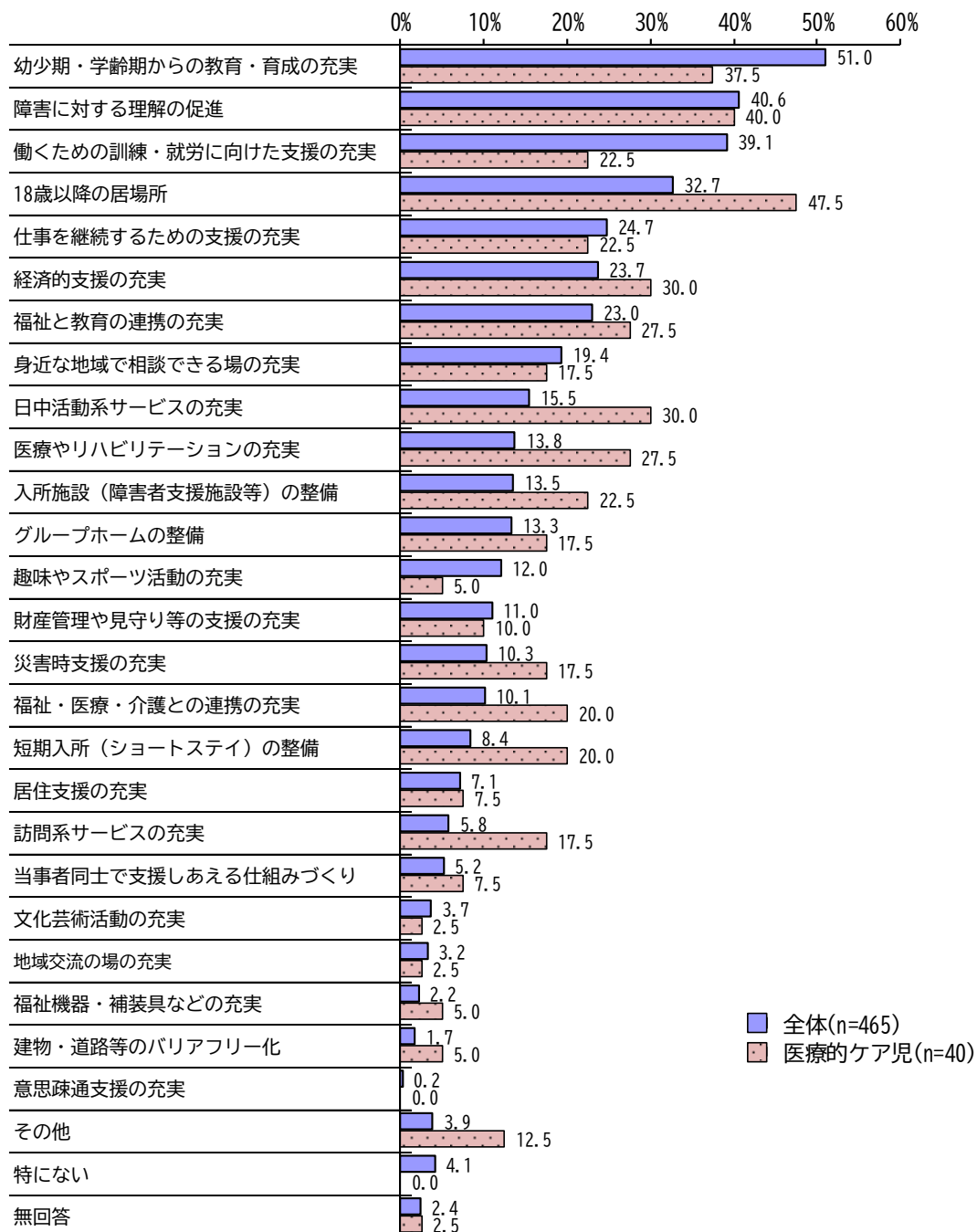
地域で安心して暮らすために必要な施策は、「幼少期・学齢期からの教育・育成の充実」が 51.0%と5割を超えており、次いで「障害に対する理解の促進」が 40.6%、「働くための訓練・就労に向けた支援の充実」が 39.1%、「18歳以降の居場所」32.7%と続いています。

令和4年度と比較すると、「障害に対する理解の促進」、「仕事を継続するための支援の充実」、「身近な地域で相談できる場の充実」で5ポイント以上下がっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【全体と医療的ケア児との比較】



医療的ケア児と全体を比較すると、医療的ケア児が地域で安心して暮らすために必要な施策の割合は、「18歳以降の居場所」が14.8ポイント、「日中活動系サービスの充実」が14.5ポイント、「医療やリハビリテーションの充実」が13.7ポイント、「訪問系サービスの充実」が11.7ポイント、「短期入所（ショートステイ）の整備」が11.6ポイントと、10ポイント以上大きく全体の割合を上回っています。

反対に、「働くための訓練・就労に向けた支援の充実」が16.6ポイント、「幼少期・学齢期からの教育・育成の充実」が13.5ポイントと、10ポイント以上全体の割合を下回っています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】年代別

(単位:%)	n	障害に対する理解の促進	医療やリハビリテーションの充実	幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	働くための訓練・就労に向けた支援の充実	仕事を継続するための支援の充実	身近な地域で相談できる場の充実	訪問サービスの充実
全体	465	40.6	13.8	51.0	39.1	24.7	19.4	5.8
年代別								
0～2歳	15	40.0	26.7	66.7	20.0	6.7	20.0	20.0
3～5歳	106	38.7	20.8	77.4	25.5	15.1	18.9	6.6
6～8歳	127	43.3	11.0	60.6	43.3	26.8	23.6	0.8
9～11歳	104	43.3	10.6	48.1	49.0	26.0	16.3	4.8
12～14歳	51	37.3	7.8	21.6	39.2	31.4	25.5	9.8
15歳以上	58	36.2	13.8	8.6	44.8	36.2	10.3	8.6

(単位:%)	n	日中活動系サービスの充実	短期入所(ショートステイ)の整備	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームの整備	入所施設(障害者支援施設等)の整備	居住支援の充実
全体	465	15.5	8.4	0.2	2.2	13.3	13.5	7.1
年代別								
0～2歳	15	20.0	13.3	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0
3～5歳	106	9.4	5.7	0.0	0.9	3.8	6.6	4.7
6～8歳	127	11.8	6.3	0.8	2.4	15.0	15.0	3.9
9～11歳	104	21.2	9.6	0.0	1.0	13.5	9.6	9.6
12～14歳	51	17.6	11.8	0.0	5.9	15.7	19.6	9.8
15歳以上	58	22.4	12.1	0.0	1.7	25.9	27.6	13.8

(単位:%)	n	建物・道路等のバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	文化芸術活動の充実	趣味やスポーツ活動の充実	財産管理や見守り等の支援の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実
全体	465	1.7	5.2	3.7	12.0	11.0	23.7	10.3
年代別								
0～2歳	15	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	26.7	13.3
3～5歳	106	4.7	2.8	4.7	7.5	5.7	15.1	4.7
6～8歳	127	0.0	7.1	3.1	11.8	11.8	22.8	10.2
9～11歳	104	1.9	3.8	2.9	15.4	15.4	25.0	11.5
12～14歳	51	0.0	5.9	2.0	9.8	9.8	33.3	15.7
15歳以上	58	1.7	6.9	6.9	19.0	12.1	27.6	13.8

(単位:%)	n	地域交流の場の充実	福祉・医療・介護との連携の充実	福祉と教育の連携の充実	18歳以降の居場所	その他	特にない	無回答
全体	465	3.2	10.1	23.0	32.7	3.9	4.1	2.4
年代別								
0～2歳	15	0.0	6.7	26.7	13.3	0.0	0.0	6.7
3～5歳	106	1.9	9.4	31.1	16.0	1.9	7.5	0.9
6～8歳	127	3.9	12.6	27.6	26.0	2.4	2.4	0.8
9～11歳	104	4.8	5.8	16.3	40.4	4.8	1.9	2.9
12～14歳	51	2.0	15.7	25.5	51.0	3.9	9.8	2.0
15歳以上	58	3.4	8.6	5.2	53.4	10.3	1.7	5.2

年代別にみると、0～8歳までの年代では「幼少期・学齢期からの教育・育成の充実」が最も高く、特に“3～5歳”では7割半ばを超えています。

“9～11歳”では「働くための訓練・就労に向けた支援の充実」が最も高くなっています。

“12～14歳”と“15歳以上”では、「18歳以降の居場所」が5割を超えて最も高くなっています。

また、いずれの年代でも「障害に対する理解の促進」が3割半ばを超えており、「働くための訓練・就労に向けた支援の充実」が2割以上となっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	障害に対する理解の促進	医療やリハビリテーションの充実	幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	働くための訓練・就労に向けた支援の充実	仕事を継続するための支援の充実	身近な地域で相談できる場の充実	訪問系サービスの充実
全体	465	40.6	13.8	51.0	39.1	24.7	19.4	5.8
障害別								
肢体不自由	37	29.7	37.8	37.8	10.8	10.8	8.1	27.0
音声・言語・そしゃく機能障害	30	30.0	36.7	33.3	20.0	16.7	6.7	30.0
視覚障害	9	22.2	11.1	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1
聴覚・平衡機能障害	14	64.3	7.1	14.3	21.4	21.4	7.1	0.0
内部障害	28	39.3	28.6	46.4	28.6	39.3	21.4	10.7
知的障害	167	45.5	13.2	35.9	55.1	29.3	16.8	10.8
発達障害	285	45.3	10.9	53.7	45.6	26.3	21.1	4.2
精神障害	17	17.6	11.8	5.9	47.1	23.5	11.8	11.8
高次脳機能障害	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病（特定疾病）	31	35.5	25.8	32.3	22.6	9.7	12.9	19.4
強度行動障害	259	45.6	12.0	49.8	44.0	23.6	22.4	6.2
その他	31	29.0	3.2	67.7	25.8	16.1	22.6	0.0

(単位:%)	n	日中活動系サービスの充実	短期入所（ショートステイ）の整備	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームの整備	入所施設（障害者支援施設等）の整備	居住支援の充実
全体	465	15.5	8.4	0.2	2.2	13.3	13.5	7.1
障害別								
肢体不自由	37	37.8	37.8	0.0	13.5	21.6	45.9	5.4
音声・言語・そしゃく機能障害	30	30.0	26.7	0.0	6.7	23.3	36.7	10.0
視覚障害	9	22.2	44.4	0.0	11.1	11.1	44.4	0.0
聴覚・平衡機能障害	14	14.3	7.1	7.1	21.4	28.6	7.1	0.0
内部障害	28	21.4	7.1	0.0	3.6	14.3	17.9	3.6
知的障害	167	29.9	19.8	0.0	3.6	31.1	30.5	10.2
発達障害	285	15.1	6.3	0.0	0.4	12.6	11.6	8.8
精神障害	17	11.8	11.8	0.0	0.0	29.4	17.6	23.5
高次脳機能障害	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
難病（特定疾病）	31	38.7	29.0	0.0	12.9	32.3	29.0	6.5
強度行動障害	259	18.9	10.4	0.0	1.9	16.2	17.0	7.7
その他	31	3.2	9.7	0.0	6.5	12.9	16.1	6.5

(単位:%)	n	建物・道路等のバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	文化芸術活動の充実	趣味やスポーツ活動の充実	財産管理や見守り等の支援の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実
全体	465	1.7	5.2	3.7	12.0	11.0	23.7	10.3
障害別								
肢体不自由	37	5.4	2.7	0.0	2.7	5.4	21.6	8.1
音声・言語・そしゃく機能障害	30	3.3	0.0	0.0	3.3	13.3	36.7	6.7
視覚障害	9	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
聴覚・平衡機能障害	14	0.0	7.1	7.1	14.3	21.4	14.3	7.1
内部障害	28	0.0	10.7	0.0	7.1	32.1	28.6	17.9
知的障害	167	1.2	3.6	3.6	12.6	19.8	31.1	15.0
発達障害	285	0.7	5.3	3.2	12.6	10.9	26.3	10.5
精神障害	17	5.9	11.8	0.0	11.8	23.5	29.4	5.9
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病（特定疾病）	31	0.0	3.2	3.2	6.5	22.6	29.0	16.1
強度行動障害	259	0.8	5.8	3.1	12.4	13.1	25.5	9.7
その他	31	12.9	3.2	6.5	3.2	16.1	16.1	9.7

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

	n	地域交流の 場の充実	福祉・医療・ 介護との連 携の充実	福祉と教育 の連携の充 実	18歳以降 の居場所	その他	特にない	無回答
(単位:%)								
全体	465	3.2	10.1	23.0	32.7	3.9	4.1	2.4
障害別								
肢体不自由	37	2.7	16.2	16.2	37.8	5.4	2.7	5.4
音声・言語・そしゃく機能障害	30	3.3	10.0	3.3	40.0	6.7	0.0	6.7
視覚障害	9	0.0	11.1	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1
聴覚・平衡機能障害	14	0.0	14.3	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1
内部障害	28	7.1	21.4	17.9	25.0	0.0	3.6	3.6
知的障害	167	3.6	13.8	12.0	49.1	3.6	0.0	0.6
発達障害	285	2.5	7.0	27.0	36.8	3.9	3.5	0.0
精神障害	17	17.6	0.0	0.0	64.7	17.6	0.0	0.0
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾病)	31	6.5	12.9	9.7	35.5	6.5	3.2	3.2
強度行動障害	259	3.5	12.0	24.3	38.2	5.8	3.5	0.0
その他	31	3.2	16.1	38.7	25.8	12.9	6.5	0.0

障害別にみると、“肢体不自由”では「入所施設(障害者支援施設等)の整備」が4割半ばで最も高くなっています。

“音声・言語・そしゃく機能障害”と“精神障害”では、「18歳以降の居場所」が4割以上で最も高く、特に“精神障害”では6割半ば近くと、他の障害より高くなっています。

“聴覚・平衡機能障害”では、「障害に対する理解の促進」が6割を超えて最も高くなっています。

“知的障害”では「働くための訓練・就労に向けた支援の充実」が5割半ばで最も高くなっています。

“難病(特定疾病)”では、「日中活動系サービスの充実」が3割半ばを超えて最も高くなっています。

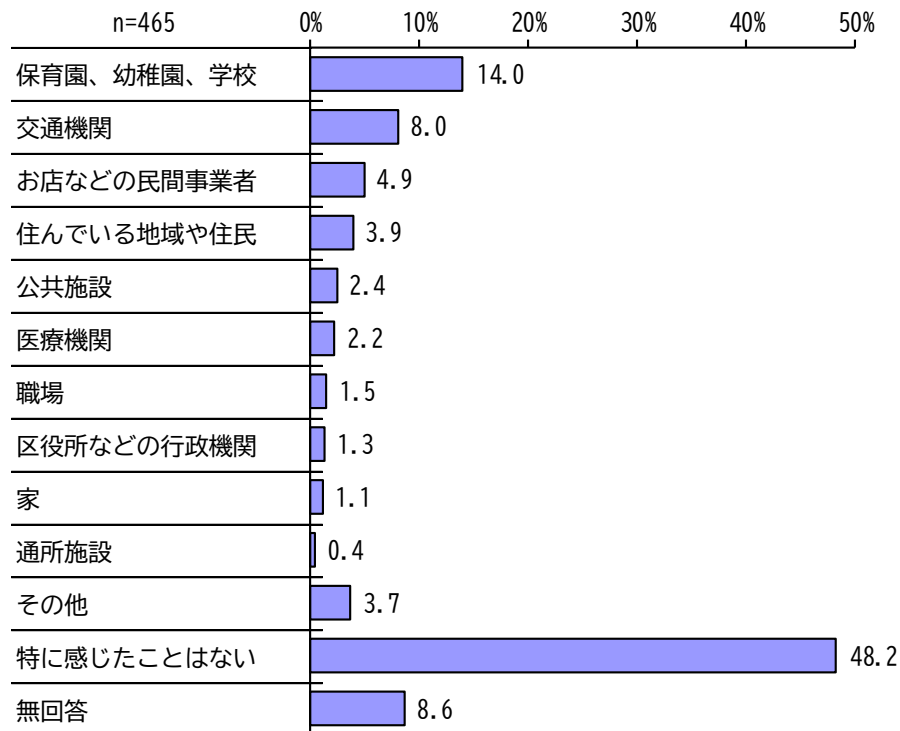
それ以外の障害ではいずれも「幼少期・学齢期からの教育・育成の充実」が最も高くなっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(1) 地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面

問 44 あなたが、地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面をお聞かせください。
(○はひとつ)



地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面は、「保育園、幼稚園、学校」が 14.0%と最も高く、それ以外のいずれも 1 割を切っています。

一方、「特に感じたことはない」は 48.2%となっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	家	職場	通所施設	お店などの民間事業者	住んでいる地域や住民	公共施設	区役所などの行政機関
全体	465	1.1	1.5	0.4	4.9	3.9	2.4	1.3
障害別								
肢体不自由	37	0.0	0.0	2.7	5.4	5.4	8.1	2.7
音声・言語・そしゃく機能障害	30	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3
視覚障害	9	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
聴覚・平衡機能障害	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
内部障害	28	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	3.6	0.0
知的障害	167	1.8	2.4	0.6	9.0	5.4	4.2	1.8
発達障害	285	1.8	1.8	0.4	4.6	4.6	2.5	1.4
精神障害	17	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾病)	31	0.0	3.2	0.0	9.7	3.2	3.2	9.7
強度行動障害	259	1.9	1.9	0.4	6.9	4.6	3.1	1.2
その他	31	0.0	0.0	3.2	12.9	0.0	0.0	3.2

(単位:%)	n	医療機関	交通機関	保育園、幼稚園、学校	その他	特に感じたことはない	無回答
全体	465	2.2	8.0	14.0	3.7	48.2	8.6
障害別							
肢体不自由	37	5.4	13.5	8.1	0.0	40.5	8.1
音声・言語・そしゃく機能障害	30	3.3	23.3	6.7	10.0	40.0	3.3
視覚障害	9	0.0	11.1	11.1	0.0	44.4	11.1
聴覚・平衡機能障害	14	0.0	21.4	14.3	0.0	50.0	7.1
内部障害	28	0.0	10.7	3.6	0.0	50.0	17.9
知的障害	167	4.2	11.4	9.0	4.2	41.3	4.8
発達障害	285	2.5	6.7	16.5	4.9	45.3	7.4
精神障害	17	0.0	5.9	11.8	11.8	47.1	0.0
高次脳機能障害	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
難病(特定疾病)	31	3.2	16.1	3.2	0.0	35.5	12.9
強度行動障害	259	3.1	6.9	16.6	5.0	42.1	6.2
その他	31	0.0	6.5	9.7	0.0	58.1	6.5

障害別にみると、“その他”を除く回答数10件以上の障害ではいずれも、「交通機関」か「保育園、幼稚園、学校」が最も高くなっており、特に“音声・言語・そしゃく機能障害”と“聴覚・平衡機能障害”では、「交通機関」が2割を超えて、他の障害より高くなっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(2) 地域に求める合理的配慮

問45 あなたが、これまでに文京区内で感じた差別や合理的配慮の不提供についての内容及び、求める対応をお聞かせください。(自由記入)

地域に求める合理的配慮についての意見は110件ありました。「保育・教育」についての意見が41.8%と最も多く、次いで「障害理解・思いやり・偏見の排除」が34.5%、「福祉サービス」が5.5%となっています。

主な意見は以下の通りです。

単位 (%)

	総数	保育・教育	障害理解・思いやり・偏見の排除	福祉サービス	休憩・トイレ	交通事情・バリアフリー	情報周知・啓発	施設等の受け入れ	その他
合理的配慮	110	41.8	34.5	5.5	4.5	4.5	2.7	2.7	3.6

◆主な意見（内容は要約・省略しています）

1. 保育・教育（46件）

- ・幼稚園や保育園では特別保育の制度（加配）があるのに、小学校の通常学級にはない。障害の特性があってもその程度により特別支援学級に入ることができず通常学級に在籍となってしまった子供は、通常級で過ごす時間に、合理的配慮（個に応じた支援）が十分に受けられない。通級（学びの教室）はあるが、通常級で過ごす時間がほとんどの為、通常級で過ごす時間に必要に応じて支援が受けられないと負担となる。通常級の加配や人員を手厚くしてほしい。
- ・障害を理由とした評価の差を感じたことがあります。例えば、英語の授業で発言が難しいため通知表で評価がつかないことがありました。ただ、担当の先生によって評価の基準や対応が異なり、代替の手段で評価される年もあるため、子どもの自尊心を守りつつ納得できるように説明するのが難しく、もどかしさを感じています。
- ・習い事はサポートが必要な子どもが通えないことが多い。受け入れることを前提に、親や他の子どもたちとどのようなサポートが可能か、どのような協力があれば実現できるかを相談できるようになってほしい。

2. 障害理解・思いやり・偏見の排除（38件）

- ・「差別」という言葉は強すぎます。障がい者に慣れていない方がまだ多いと思う。子供が発語がなく「アーウー」と騒ぐとあからさまにイヤな顔、無視する人も多い。ただ保育園と時間を共に過ごしてきた子供たちは慣れたもので子供が落ちつくためおもちゃを持ってきてくれたり、話しかけたりしてくれる。一緒に過ごしておたがい成長しているなど実感します。
- ・見た目は普通なので、困っている事に気づかれにくく、合理的配慮を求めても、甘やかしと思われることもあり、伝えにくい。

② 18歳未満の方向け調査結果

3. 福祉サービス（6件）

- ・児童発達支援はとても役立ちますし、困りごとを個別にサポートしてもらえてありがたいです。しかしながら、親世代が子供の頃はそういったサービスはなかったですし、はじめは我が子が障害者なのかとショックを受けたりもしました。園からの指摘も遠回しすぎてわかりにくく、かなり気を使っているかと思われます。
- ・移動支援事業所が少ない又は、あっても枠がいっぱいで利用できず。

4. 休憩・トイレ（5件）

- ・障害者用トイレが少ない。一般のトイレを利用する場合は車イスが通れるスペースが狭いことが多々ある。
- ・外出先のトイレについて、バリアフリートイレの表示はあっても介助ベッドを設置しているトイレは非常に少ない。介助ベッドを設置したバリアフリートイレの増設を要望します

5. 交通事情・バリアフリー（5件）

- ・区として早急に改善して欲しいのは歩道のバリアフリー化です。坂が多い分道の勾配があるのは仕方ないけれど歩道が家への見栄えや車の出入り重視で斜めになってる所が多く車椅子やベビーカーが苦勞しているし道の段差も多くつまずきやすい。歩道だけは地球に水平に出来ない物だろうか？

6. 情報周知・啓発（3件）

- ・正しい知識が身につけていない。そもそも「差別をしない」気持ちがない。（バス内で嫌な視線をわざと投げかけるなど）善悪だけでなく、心の問題や価値観、倫理観にも対応が必要だと思う。

7. 施設等の受け入れ（3件）

- ・年少の時から教育センターに通っていますが、月に一回だけ通うことに効果があるのかなと不安です。

8. その他（4件）

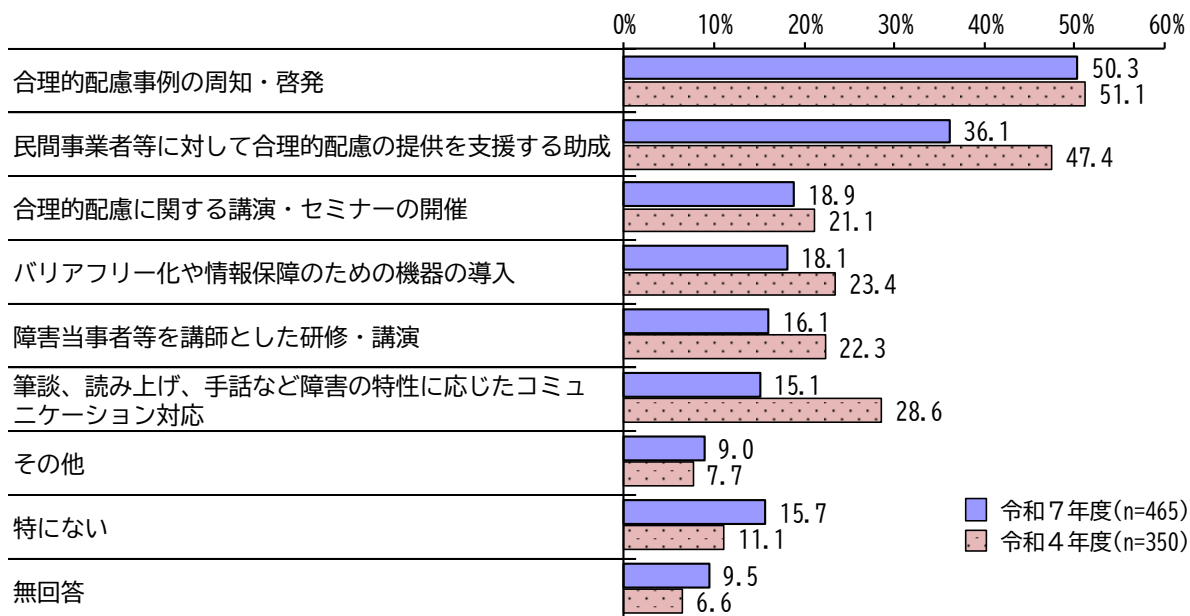
- ・文京区はかなり対応が良いのですが、都立が厳しくて柔軟に連携してくれない。文京区はいつもありがたいです。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(3) 合理的配慮の提供を進めていくために必要なこと

問46 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことはなんだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



合理的配慮の提供を進めていくために必要なことは、「合理的配慮事例の周知・啓発」が50.3%と5割に達し最も高く、次いで「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が36.1%と続いています。

一方、「特にない」は15.7%となっています。

令和4年度と比較すると、「その他」と「特にない」を除いたすべての項目で令和4年度を下回っており、特に「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応」が13.5ポイント、「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が11.3ポイントと、10ポイント以上下がっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

	n	合理的配慮に関する講演・セミナーの開催	合理的配慮事例の周知・啓発	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応	バリアフリー化や情報保障のための機器の導入	障害当事者等を講師とした研修・講演
(単位:%)						
全体	465	18.9	50.3	15.1	18.1	16.1
障害別						
肢体不自由	37	16.2	45.9	13.5	37.8	24.3
音声・言語・そしゃく機能障害	30	23.3	50.0	13.3	26.7	33.3
視覚障害	9	11.1	66.7	0.0	22.2	33.3
聴覚・平衡機能障害	14	7.1	50.0	7.1	28.6	7.1
内部障害	28	14.3	42.9	7.1	17.9	14.3
知的障害	167	25.7	55.1	15.0	20.4	19.2
発達障害	285	20.4	53.3	17.5	14.4	15.1
精神障害	17	11.8	41.2	11.8	23.5	17.6
高次脳機能障害	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾病)	31	19.4	48.4	12.9	32.3	19.4
強度行動障害	259	23.2	54.4	18.1	15.8	16.6
その他	31	9.7	48.4	9.7	29.0	12.9

	n	民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成	その他	特にない	無回答
(単位:%)					
全体	465	36.1	9.0	15.7	9.5
障害別					
肢体不自由	37	35.1	13.5	16.2	10.8
音声・言語・そしゃく機能障害	30	36.7	10.0	20.0	6.7
視覚障害	9	33.3	22.2	11.1	11.1
聴覚・平衡機能障害	14	21.4	0.0	14.3	14.3
内部障害	28	39.3	10.7	21.4	10.7
知的障害	167	48.5	10.2	9.6	7.2
発達障害	285	38.6	10.9	13.0	8.4
精神障害	17	17.6	11.8	11.8	0.0
高次脳機能障害	1	0.0	100.0	0.0	0.0
難病(特定疾病)	31	35.5	12.9	12.9	12.9
強度行動障害	259	41.3	12.4	12.0	7.7
その他	31	35.5	6.5	12.9	9.7

障害別にみると、いずれの障害でも「合理的配慮事例の周知・啓発」が4割を超えて最も高くなっています。

また、“知的障害”と“強度行動障害”では、「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が4割を超えて、他の障害より高くなっています。

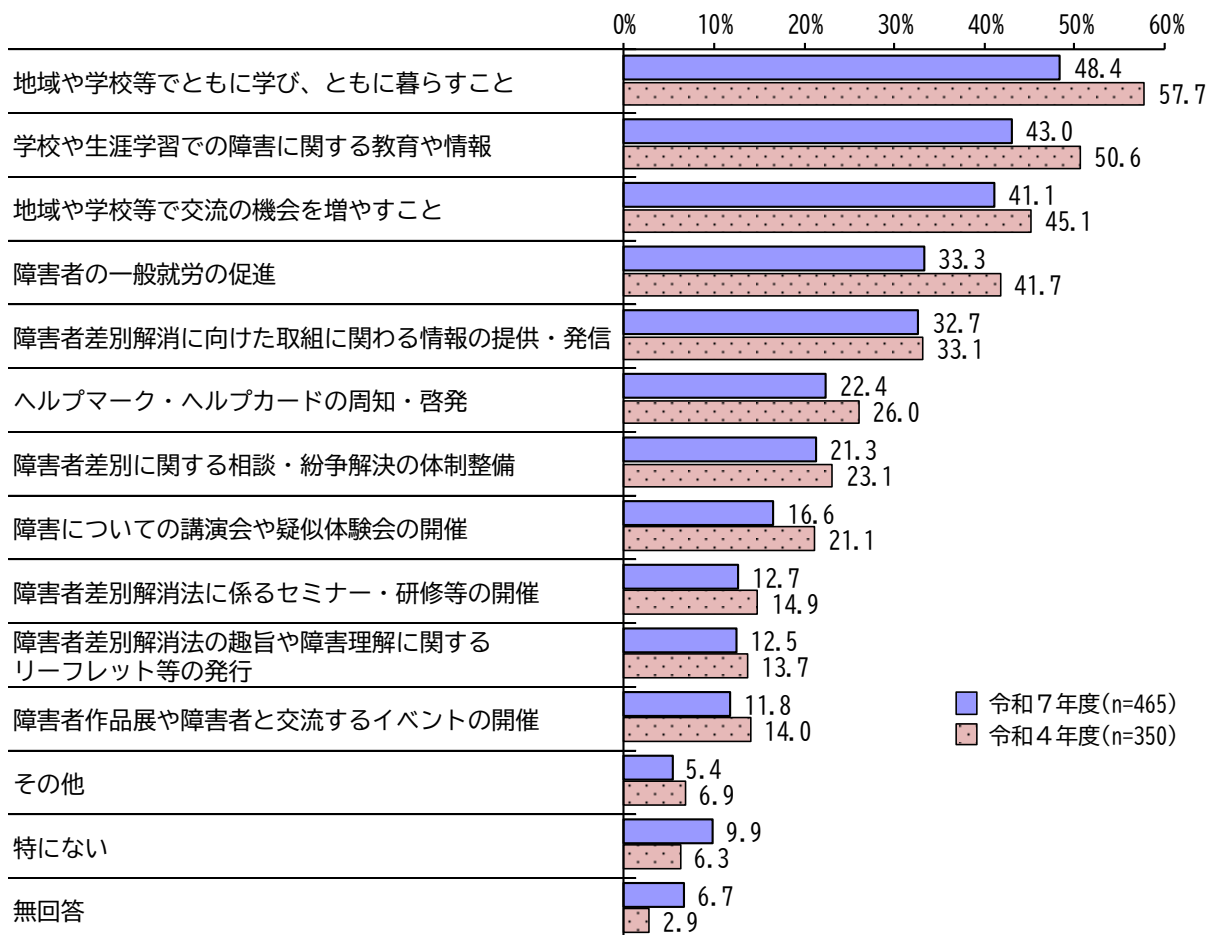
② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(4) 差別解消に必要なこと

問 47 障害者の差別解消を進めていくために必要なことはなんだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



障害者の差別解消を進めていくために必要なことは、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.4%と4割半ばを超えて最も高く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が43.0%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が41.1%と4割を超えて続いています。

一方、「特にない」は9.9%となっています。

令和4年度と比較すると、「特にない」を除いたすべての項目で令和4年度を下回っており、特に「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が9.3ポイント、「障害者の一般就労の促進」が8.4ポイント、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が7.6ポイントと、7ポイント以上下がっています。

② 18歳未満の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】障害別

(単位:%)	n	障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備	障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信	障害者差別解消法に係るセミナー・研修等の開催	障害者差別解消法の趣旨や障害理解に関するリーフレット等の発行	障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催	地域や学校等で交流の機会を増やすこと	地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
全体	465	21.3	32.7	12.7	12.5	11.8	41.1	48.4
障害別								
肢体不自由	37	18.9	27.0	5.4	10.8	27.0	51.4	59.5
音声・言語・そしゃく機能障害	30	23.3	26.7	10.0	3.3	16.7	50.0	63.3
視覚障害	9	22.2	44.4	11.1	11.1	33.3	55.6	33.3
聴覚・平衡機能障害	14	14.3	28.6	7.1	14.3	0.0	21.4	14.3
内部障害	28	21.4	21.4	14.3	10.7	17.9	39.3	64.3
知的障害	167	22.8	38.3	14.4	14.4	17.4	46.1	51.5
発達障害	285	24.6	37.9	15.1	14.0	9.5	44.2	50.2
精神障害	17	23.5	23.5	11.8	0.0	11.8	35.3	52.9
高次脳機能障害	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
難病（特定疾病）	31	22.6	35.5	9.7	6.5	22.6	25.8	35.5
強度行動障害	259	25.9	37.1	15.4	15.1	13.9	45.2	49.8
その他	31	22.6	32.3	6.5	12.9	6.5	32.3	38.7

(単位:%)	n	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	障害についての講演会や疑似体験会の開催	障害者の一般就労の促進	ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発	その他	特にない	無回答
全体	465	43.0	16.6	33.3	22.4	5.4	9.9	6.7
障害別								
肢体不自由	37	35.1	18.9	24.3	27.0	13.5	5.4	8.1
音声・言語・そしゃく機能障害	30	40.0	23.3	30.0	23.3	13.3	6.7	6.7
視覚障害	9	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1
聴覚・平衡機能障害	14	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	28.6	7.1
内部障害	28	39.3	25.0	39.3	28.6	3.6	10.7	10.7
知的障害	167	49.1	21.6	41.9	32.9	8.4	1.8	4.8
発達障害	285	47.4	17.2	34.7	24.6	6.0	9.1	4.6
精神障害	17	52.9	17.6	52.9	17.6	11.8	0.0	0.0
高次脳機能障害	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病（特定疾病）	31	38.7	19.4	25.8	19.4	12.9	6.5	9.7
強度行動障害	259	46.3	18.5	35.9	27.8	5.8	5.8	4.6
その他	31	45.2	22.6	32.3	9.7	9.7	12.9	9.7

障害別にみると、“聴覚・平衡機能障害”、“難病（特定疾病）”、“その他”以外のいずれの障害でも「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が最も高く、特に“音声・言語・そしゃく機能障害”と“内部障害”では6割を超えて、他の障害より高くなっています。また、“精神障害”では「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」と「障害者の一般就労の促進」も5割を超えて最も高くなっています。

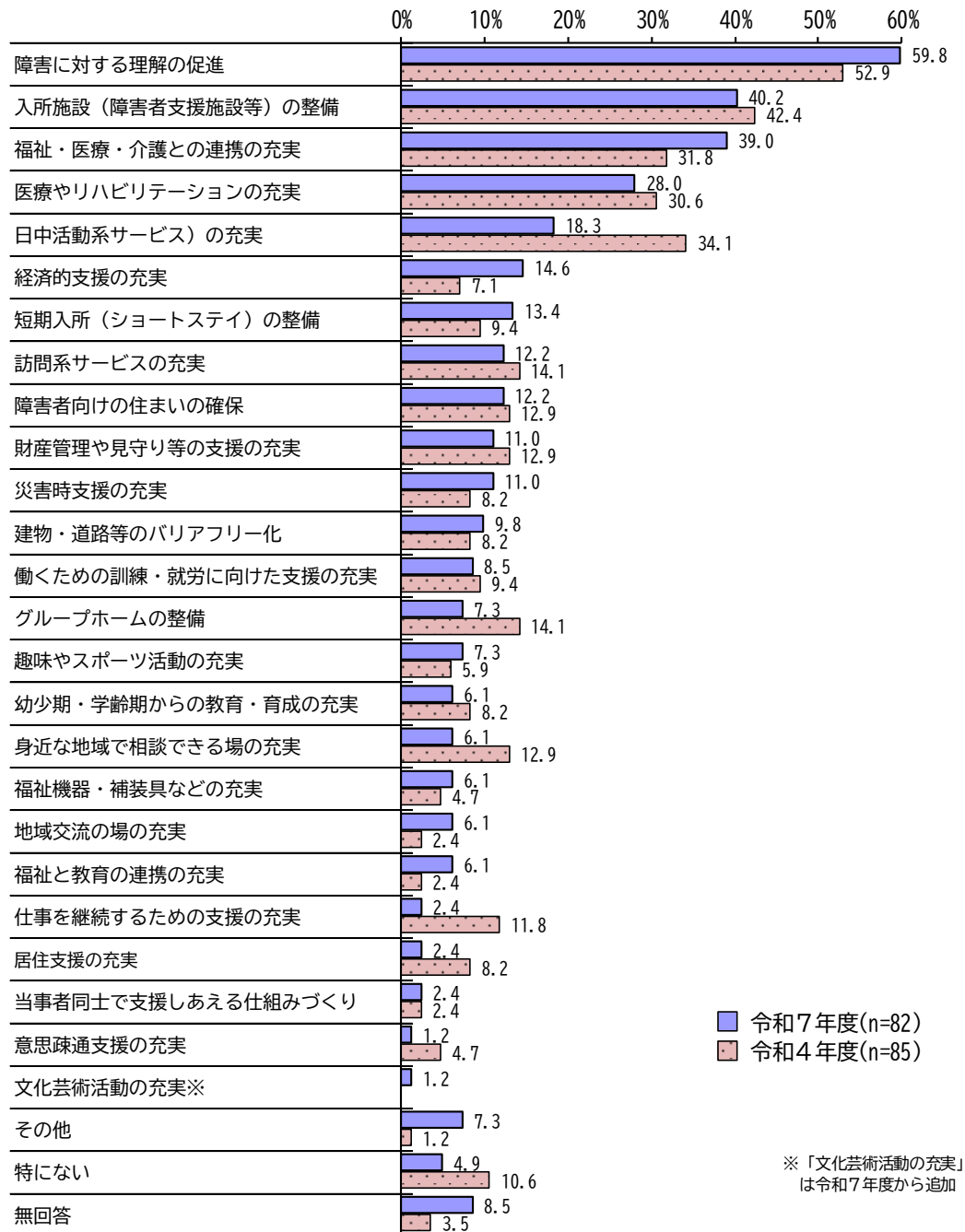
“聴覚・平衡機能障害”では、「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が、“難病（特定疾病）”、“その他”では「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が最も高くなっています。

③ 施設入所の方角け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(6) 地域で安心して暮らすために重要な施策

問 21 障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。
(○は5つまで)



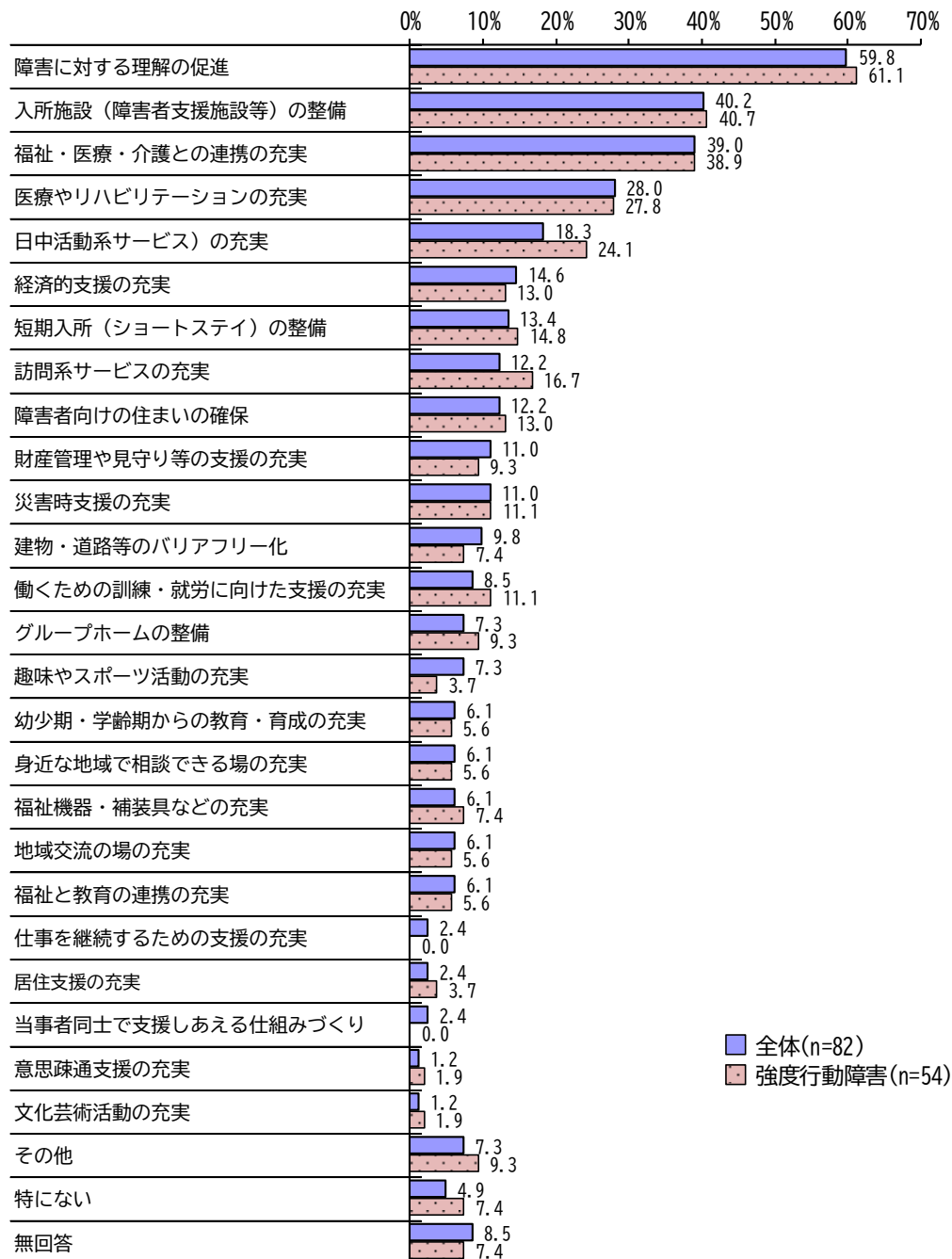
地域で安心して暮らすために重要な施策は、「障害に対する理解の促進」が 59.8%と約6割で最も高く、次いで「入所施設（障害者支援施設等）の整備」が 40.2%、「福祉・医療・介護との連携の充実」が 39.0%、「医療やリハビリテーションの充実」が 28.0 と続いています。

令和4年度と比較すると、「経済的支援の充実」が 7.5 ポイント、「障害に対する理解の促進」が 6.9 ポイント上がっており、反対に、「日中活動系サービスの充実」が 15.8 ポイント、「仕事を継続するための支援の充実」が 9.4 ポイント、「グループホームの整備」と「身近な地域で相談できる場の充実」がともに 6.8 ポイント、「居住支援の充実」が 5.8 ポイント下がっています。

③ 施設入所の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【全体と問12に該当する方（強度行動障害の疑いがある方）との比較】



強度行動障害と全体を比較すると、地域で安心して暮らすために重要な施策は、「日中活動系サービス（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等）の充実」が5.8ポイント、「訪問系サービス（居宅介護・重度訪問介護・同行援護等）の充実」が4.5ポイントと全体の割合を上回っていますが、全体的な傾向にあまり差はありません。

③ 施設入所の方角け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】地域別

(単位:%)	n	障害に対する理解の促進	医療やリハビリテーションの充実	幼少期・学齢期からの教育・育成の充実	働くための訓練・就労に向けた支援の充実	仕事を継続するための支援の充実	身近な地域で相談できる場の充実	訪問系サービスの充実
全体	82	59.8	28.0	6.1	8.5	2.4	6.1	12.2
地域別								
文京区内	24	83.3	29.2	12.5	4.2	0.0	4.2	25.0
23区内（文京区を除く）	9	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
東京都内（23区内を除く）	10	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	20.0
関東（東京都を除く）	23	43.5	30.4	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7
関東以外	16	75.0	31.3	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0

(単位:%)	n	日中活動系サービスの充実	短期入所（ショートステイ）の整備	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームの整備	入所施設（障害者支援施設等）の整備	障害者向けの住まいの確保
全体	82	18.3	13.4	1.2	6.1	7.3	40.2	12.2
地域別								
文京区内	24	37.5	20.8	4.2	4.2	4.2	62.5	12.5
23区内（文京区を除く）	9	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	33.3	0.0
東京都内（23区内を除く）	10	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	40.0	20.0
関東（東京都を除く）	23	4.3	13.0	0.0	4.3	8.7	26.1	8.7
関東以外	16	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	31.3	18.8

(単位:%)	n	居住支援の充実	建物・道路等のバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	文化芸術活動の充実	趣味やスポーツ活動の充実	財産管理や見守り等の支援の充実	経済的支援の充実
全体	82	2.4	9.8	2.4	1.2	7.3	11.0	14.6
地域別								
文京区内	24	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	20.8	20.8
23区内（文京区を除く）	9	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
東京都内（23区内を除く）	10	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0
関東（東京都を除く）	23	0.0	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	13.0
関東以外	16	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5

(単位:%)	n	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	福祉・医療・介護との連携の充実	福祉と教育の連携の充実	その他	特になし	無回答
全体	82	11.0	6.1	39.0	6.1	7.3	4.9	8.5
地域別								
文京区内	24	12.5	8.3	33.3	4.2	4.2	0.0	8.3
23区内（文京区を除く）	9	0.0	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2
東京都内（23区内を除く）	10	10.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0
関東（東京都を除く）	23	8.7	4.3	60.9	8.7	4.3	8.7	4.3
関東以外	16	18.8	6.3	31.3	6.3	12.5	12.5	0.0

地域別にみると、いずれの地域でも「周囲の人の障害に対する理解の促進」が3割以上で高く、特に“文京区内”と“関東以外”では7割半ば以上で最も高くなっています。

また、「福祉・医療・介護との連携の充実」はいずれの地域でも2割以上となっており、特に“関東（東京都を除く）”では6割に達し最も高くなっています。

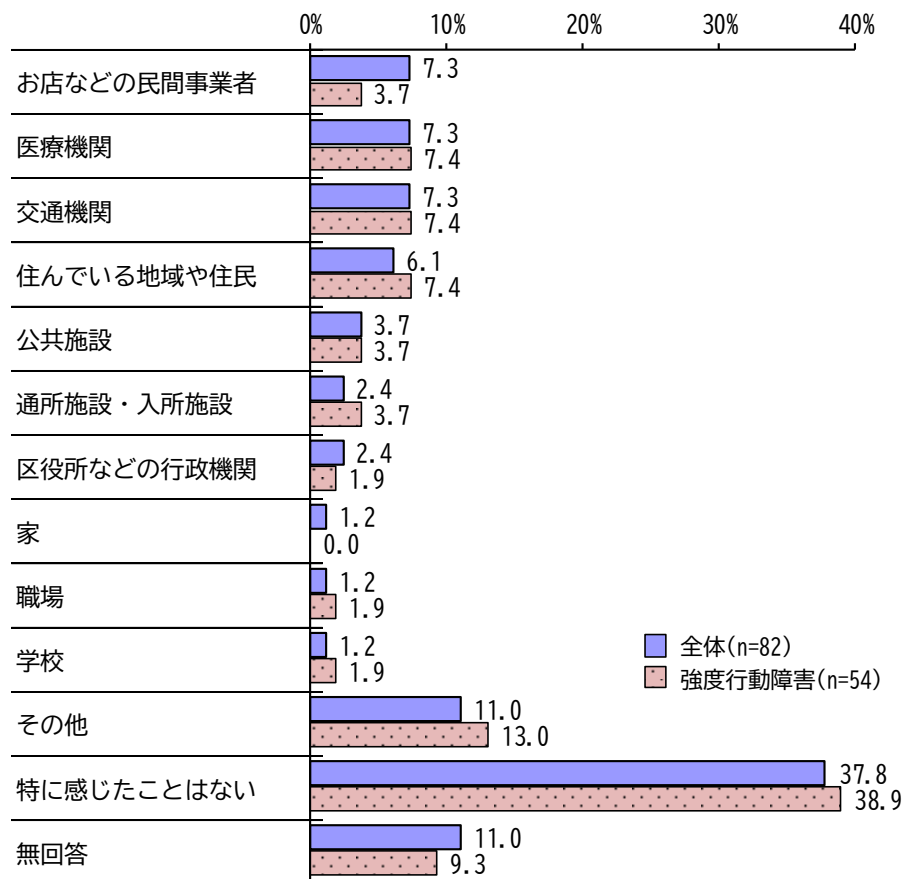
また、“文京区内”では、「入所施設（障害者支援施設等）の整備」が6割を超えて、他の地域より高くなっています。

③ 施設入所の方角け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(5) 地域で差別を感じる場面

問 26 あなたが、地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面をお聞かせください。
(○はひとつ)



地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面は、「お店などの民間事業者」、「医療機関」、「交通機関」がそれぞれ 7.3%と最も高く、次いで「住んでいる地域や住民」が 6.1%、「公共施設」が 3.7%と続いています。

一方、「特に感じたことはない」は 37.8%と3割半ばを超えています。

強度行動障害と全体を比較すると、休日等の過ごし方は、「お店などの民間事業者」が3.6ポイント低いなど、項目ごとに高低はありますが、全体とあまり差はありません。

③ 施設入所の方角け調査結果

(6) 地域に求める合理的配慮

問27 あなたが、これまでに文京区内で感じた差別や合理的配慮の不提供についての内容及び、求める対応をお聞かせください。(自由記入)

地域に求める合理的配慮についての意見は10件ありました。

主な意見は以下の通りです。

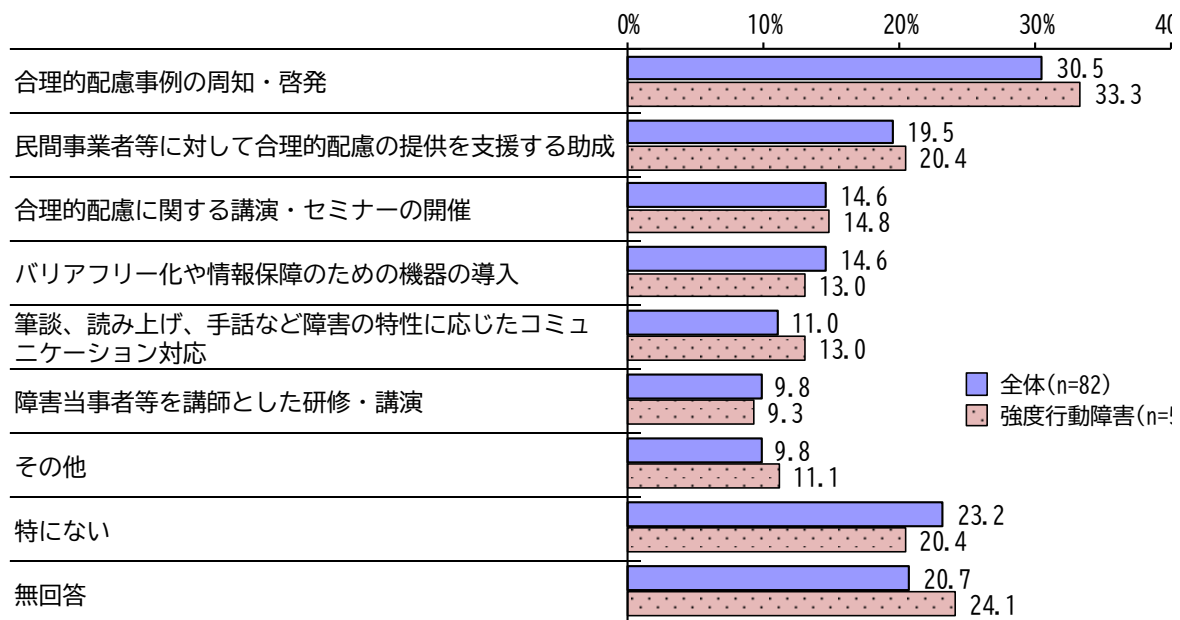
- ・ 本人が言葉が話せないので、本人の感じた事は不明ですが、親としては幼稚園も区立の障害枠で入れてもらったり、小学校からは養護学校でしたし、近所にあった福祉会館（動坂）でショートステイや預かりをしてくれたり、困った時（親が）に行政に助けてもらったと思います。
- ・ (マイナンバーカード申請時) 字を書く能力がないが書類に名前を記入することを求められる。
- ・ 外出がむずかしい生活としているので、マイナンバーカードなど本人を要するシステムが通院等不便です。
- ・ 施設の面会時間が午前、午後共に2時間しかなく家族、友人に、たまに会う機会に行き帰りの交通機関も全部含めという、込み入った話も良く出来なくなるので、せめて、玄関口の閉まる時間まで延長をお願いしたい。個別外出も、年に1回しかないのに、面会時間内に交通機関も含め2時間しかないのは、やはり、ゆっくり気分良く普段出来ない買い物などをしてほしいと思うので、この2点の問題を含め、検討をお願いしたい。

③ 施設入所の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(7) 合理的配慮に必要なこと

問28 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことはなんだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



合理的配慮を進めていくために必要なことは、「合理的配慮事例の周知・啓発」が30.5%と3割に達し最も高く、次いで「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が19.5%、「合理的配慮に関する講演・セミナーの開催」と「バリアフリー化や情報保障のための機器の導入」がともに14.6%と続いています。

一方、「特になし」は23.2%と2割を超えています。

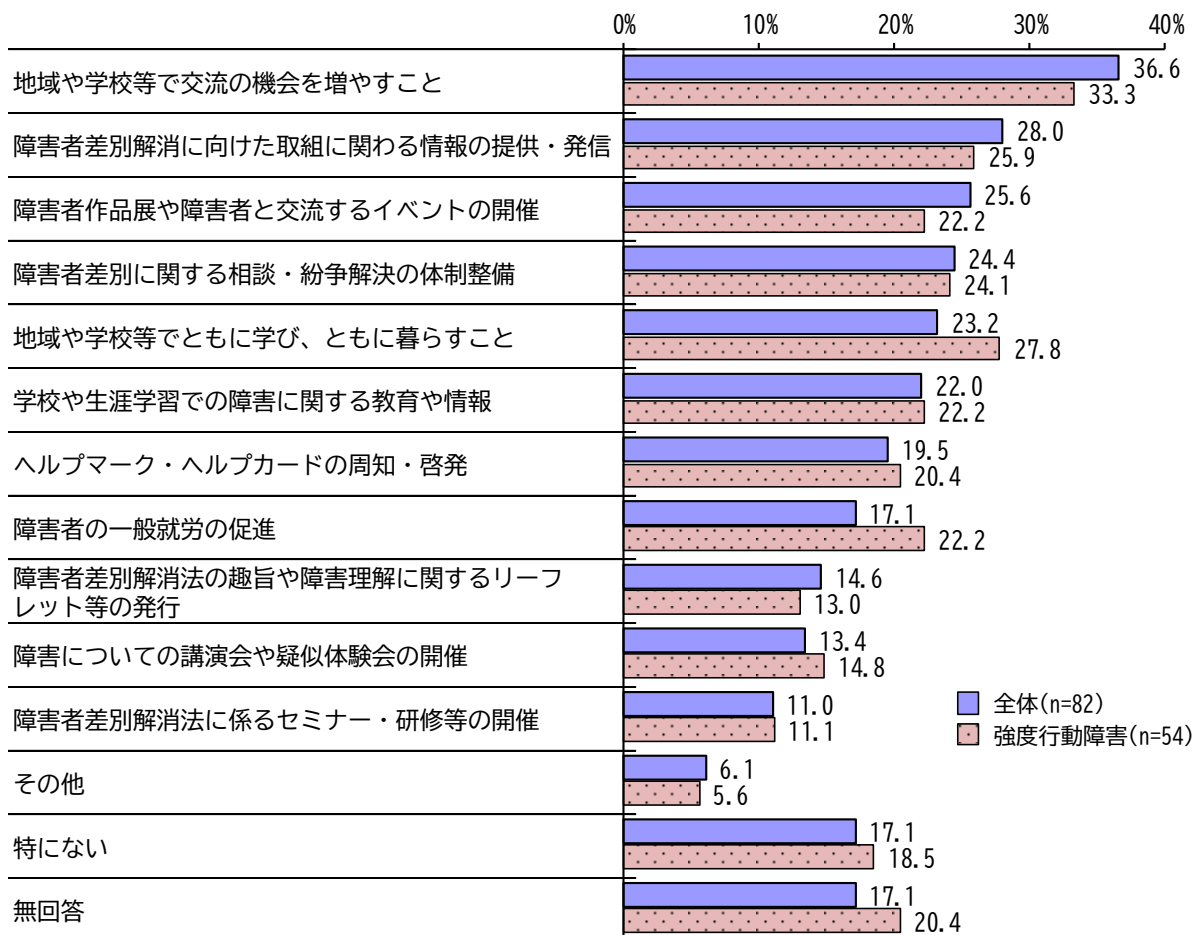
強度行動障害と全体を比較すると、合理的配慮を進めていくために必要なことは、「合理的配慮事例の周知・啓発」が2.8ポイント、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応」が2.0ポイント高いなど、項目ごとに高低はありますが、全体とあまり差はありません。

③ 施設入所の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(8) 差別解消に必要なこと

問 29 障害者の差別解消を進めていくために必要なことはなんだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



障害者の差別解消を進めていくために必要なことは、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が36.6%と3割半ばを超えて最も高く、次いで「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が28.0%、「障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催」が25.6%、「障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備」が24.4%と続いています。

一方、「特にない」は17.1%と1割半ばを超えています。

強度行動障害と全体を比較すると、障害者の差別解消を進めていくために必要なことは、「障害者の一般就労の促進」が5.1ポイント、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が4.6ポイント全体を上回っており、反対に「障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催」が3.4ポイント、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が3.3ポイント全体を下回っています。

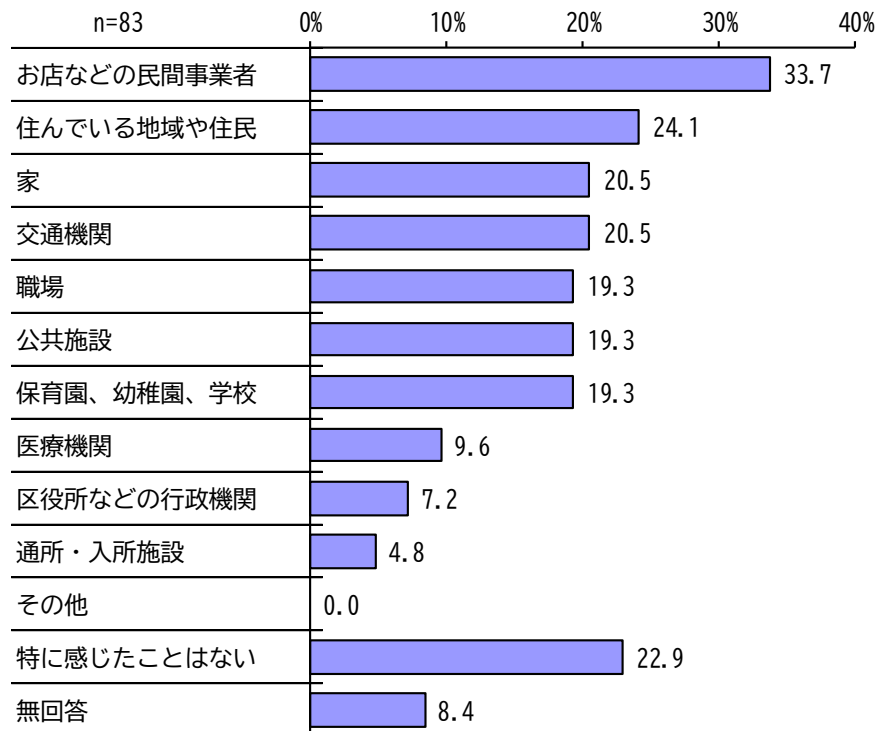
④ サービス事業者の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(7) 地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面

問 38 地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面をお聞かせください。

(○はひとつ)



地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面は、「お店などの民間事業者」が 33.7%と3割を超えて最も高く、次いで「住んでいる地域や住民」が 24.1%、「家」と「交通機関」がともに 20.5%と続いています。

一方、「特に感じたことはない」は 22.9%と2割を超えています。

④ サービス事業者の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

【クロス集計】サービス体系別

(単位:%)	n	家	職場	通所・入所 施設	お店など の民間事 業者	住んでいる 地域や住 民	公共施設	区役所な どの行政 機関
全体	83	20.5	19.3	4.8	33.7	24.1	19.3	7.2
サービス体系別								
訪問系	21	0.0	14.3	0.0	19.0	14.3	14.3	0.0
日中活動系	11	0.0	0.0	9.1	45.5	45.5	27.3	9.1
居住系・施設系	14	21.4	14.3	0.0	50.0	42.9	35.7	7.1
訓練系・就労系	15	26.7	20.0	13.3	20.0	20.0	13.3	20.0
相談系	15	26.7	40.0	6.7	46.7	40.0	13.3	6.7
地域生活支援事業	12	8.3	16.7	0.0	58.3	33.3	25.0	0.0
障害児通所支援等	23	26.1	8.7	4.3	39.1	21.7	21.7	4.3

(単位:%)	n	医療機関	交通機関	保育園、幼 稚園、学校	その他	特に感じた ことはない	無回答
全体	83	9.6	20.5	19.3	0.0	22.9	8.4
サービス体系別							
訪問系	21	9.5	19.0	9.5	0.0	23.8	28.6
日中活動系	11	27.3	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0
居住系・施設系	14	21.4	14.3	7.1	0.0	35.7	0.0
訓練系・就労系	15	0.0	40.0	0.0	0.0	33.3	0.0
相談系	15	26.7	20.0	20.0	0.0	13.3	0.0
地域生活支援事業	12	25.0	8.3	8.3	0.0	33.3	8.3
障害児通所支援等	23	0.0	8.7	43.5	0.0	17.4	4.3

サービス体系別にみると、“訓練系・就労系”と“障害児通所支援”以外のいずれのサービスでも「お店などの民間事業者」が最も高くなっています。また、“訪問系”では「交通機関」、「日中活動系」では「住んでいる地域や住民」も最も高くなっています。

“訓練系・就労系”では、「交通機関」が、“障害児通所支援等”では「保育園、幼稚園、学校」が4割を超えて最も高くなっています。

“日中活動系”、“居住系・施設系”、“相談系”では「住んでいる地域や住民」が4割以上で高くなっています。また、“相談系”では「職場」も4割に達し、他のサービスより高くなっています。

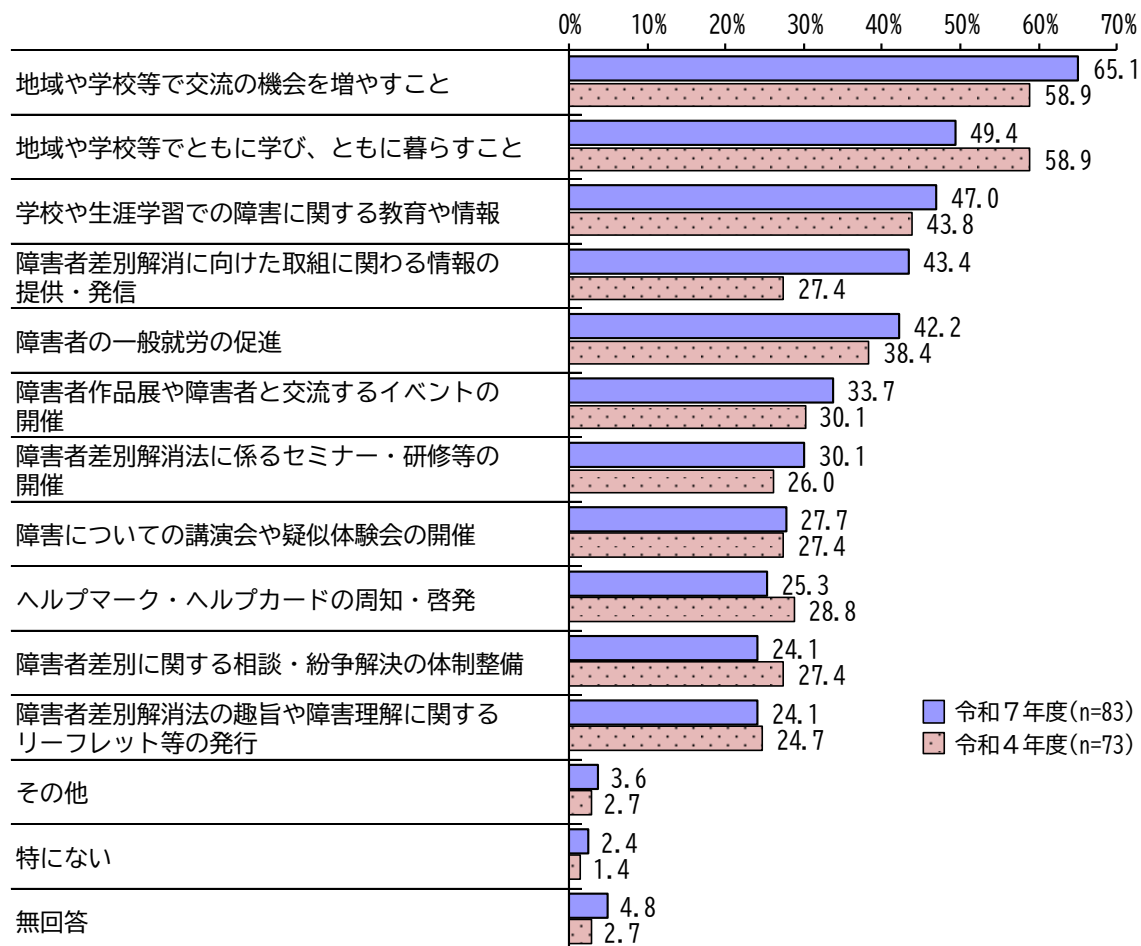
④ サービス事業者の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(8) 差別解消を進めていくために必要なこと

問 39 障害者の差別解消を進めていくために必要なことはなんだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



障害者への差別解消を進めていくために必要なことは、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が65.1%と6割半ばに達し最も高く、次いで「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が49.4%、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が47.0%と続いています。

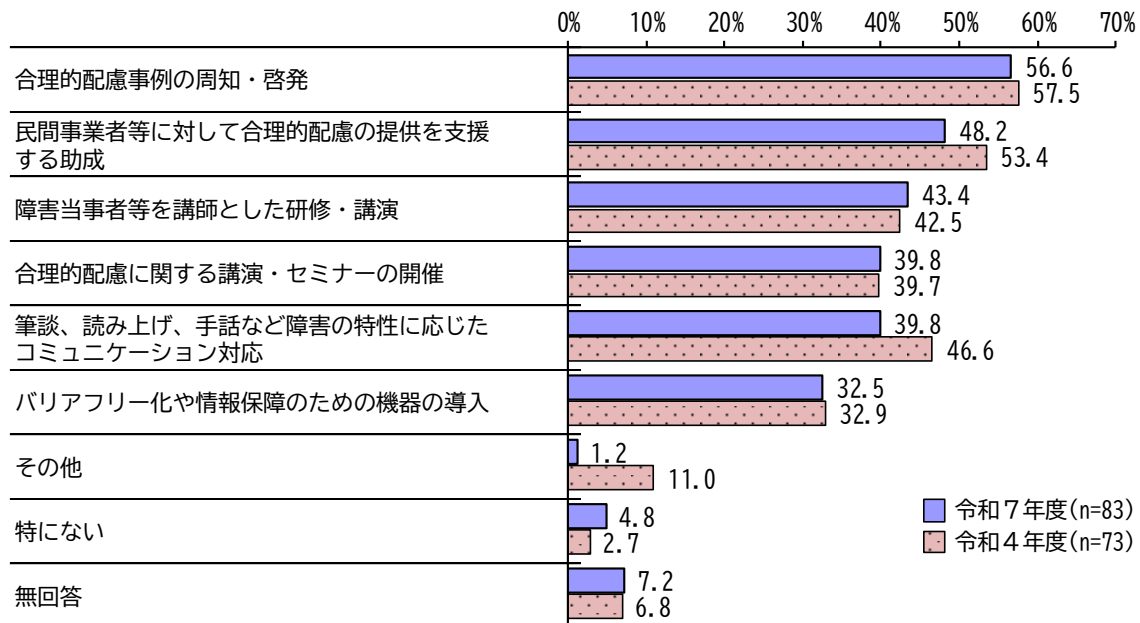
令和4年度と比較すると、「障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信」が16.0ポイント、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が6.2ポイントと、5ポイント以上上がっています。反対に、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」は9.5ポイント下がっています。

④ サービス事業者の方向け調査結果

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書抜粋

(9) 合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 40 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことはなんだと思われますか。(あてはまるものすべてに○)



合理的配慮を進めていくために必要なことは、「合理的配慮事例の周知・啓発」が 56.6%と5割を超えて最も高く、次いで「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が 48.2%、「障害当事者等を講師とした研修・講演」が 43.4%と4割台で続いています。

令和4年度と比較すると、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応」が6.8ポイント、「民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成」が5.2ポイントと、5ポイント以上下がっています。